

東京放射線

2015年12月号

Vol.62 No.734



公益社団法人 東京都診療放射線技師会
<http://www.tart.jp/>

卷頭言 進テ公益ヲ広メ
会長 篠原健一
新春のつどい
連載告白 平成26年度学術奨励賞 受賞報告
連載誌上講座 第3回 超音波

会費減額制度のお知らせ
会費減額処置申請書
研修会等申込書
登録事項変更届
平成27年東京放射線総目次



スローガン

チーム医療を推進し、
国民及び世界に貢献する
診療放射線技師の育成

2015年
DEC
CONTENTS

目 次

卷頭言 進テ公益ヲ広メ	会長 篠原健一	4
会告1 新春のつどい		5
会告2 平成27年度第4・5・6回業務拡大に伴う統一講習会		6
会告3 第12地区研修会（第52回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催）	第12地区・学術教育委員会	8
会告4 平成27年度城南支部研修会	城南支部委員会	9
会告5 第14回ウインターセミナー	学術教育委員会	10
会告6 第8回MRI集中講習会	学術教育委員会	11
お知らせ1 第11地区研修会	第11地区	12
お知らせ2 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会	13
平成26年度学術奨励賞 受賞報告	渡邊真弓	14
連載 誌上講座 第3回 超音波	小原和史	18
こえ		
・第14回城北支部研修会印象記	森田俊之	22
・第14回 城北支部研修会に参加して	小島 葵	23
・第14回 城北支部研修会で感じたこと	齋藤正人	24
・第49回日暮里塾ワンコインセミナーに参加して	S. F	25
パイプライン		
・平成27年度第2回肺がん検診従事者講習会（東京都生活習慣病検診従事者講習会）	26	
・平成27年度東京都がん検診センター 第3・4回マンモグラフィ研修会（読影補助編）	28	
・超音波スクリーニング研修講演会2015有明	30	
・平成27年度第3回関東Angio研究会（第2回ステップアップセミナー）	31	
・平成27年度東京都がん検診センター 第5・6回マンモグラフィ研修会（ポジショニング入門）	32	
・平成27年度東京都がん検診センター 第2回乳がん検診従事者講演会	34	
・第39回日本脳神経CI学会総会	36	
平成27年度第6回理事会報告		37
平成27年7月期会員動向		39
平成27年8月期会員動向		40
平成27年9月期会員動向		41
会費減額制度のお知らせ		44
会費減額処置申請書		45
研修会等申込書		50
登録事項変更届		51
<hr/> Column & Information		
・イエローケーキ		42
・求人情報		42
・学術講演会・研修会等の開催予定		43
・平成27年東京放射線総目次		46

卷頭言



進テ公益ヲ広メ

会長 篠原健一

今年は「戦後70年」「エックス線発見120周年」「診療放射線技師法改正」など、日本にとってもわれわれの職能においても節目や記念の年という印象が強かったが、後半さまざまなニュースが流れた中で、ノーベル生理学・医学賞を大村智氏が、翌日には物理学賞を梶田隆章氏が受賞したことには日本国中がわきにわいた。2年連続しかも2日連続の快挙に、日本人として大きな誇りとよろこびであり、希望を感じた出来事であった。

大村氏の受賞について安倍晋三首相は「研究がなければ亡くなつたかもしれない何億人の命が救われた。日本人として誇りに思う」とのべた。大村氏も「研究者になってからも、どうしたら世の中のため、人のためになるかなと考えてきた」と語った。その信念の根底には、子供のころ祖母からくりかえし教えられた「人のためになることを考えなさい」であったという。われわれ日本人は、古来こうした精神を大切にしてきた歴史がある。たとえば戦前の「教育勅語」は明治天皇が国民に道徳のあり方をお示しになられたものであるが、現代語訳を抜粋する。（*拙稿のタイトルは下線部の原文）

『(前略) あなたたち臣民は父母に孝行し、兄弟は仲良くし、夫婦は協力し合い、友人は信じ合い、人には恭しく、自分は慎ましくして、広く人々を愛し、学問を修め、仕事を習い、知能を伸ばし、徳行・能力を磨き、進んで公共の利益に奉仕し、世の中のために尽くし、(中略)

このようなことは、ただあなたたちが私の忠実で良い臣民であるだけではなく、あなたたちの祖先の昔から伝わる伝統を表すものもあります。(後略)』

これは、戦前の日本の教育ではあたりまえの価値観であった。戦後の教育基本法で個人主義を導入し、公徳心をなくすような教育改革が行われこわされたと言われているが、古くからの日本人の特性はしっかりと生きていたのである。そして人類のために大きな実をむすんだ。

大村氏の受賞対象研究について「土壤細菌…」という文字が目にとまり、なにげなく“土壤”と検索キーワードを打ちこんだところ、今年は国連総会が設定した“国際土壤年”であると出てきた。環境の変化や開発などによる土壤流出・土壤汚染が懸念されてのことである。大村氏が発見した寄生虫の駆除薬は、日本国内の土壤中に住む細菌から発見された物質だそうだ。地球全体ではどのような有用物質が得られるかはかりしれないものがある。

“土壤”は地球の生態系・生物多様性の重要な基盤であり、大変に長い年月をかけて風化した岩石や生物の死骸などからなる。岩石から1cmの表土ができるのに、百～数百年かかるという。さらに、植生が定着し有機物がふえるとともに多くの微生物や動物が生息できるようになるには数千年から数万年を要するという。一度うしなわれてしまえば、元に戻すことはほぼ不可能といえるかけがえのないものである。

スケールはちがうが、国の成り立ちや歴史・文化、われわれ職能組織のあゆみなども土壤生成の過程と似ているような気がする。長い時間をかけて集積したさまざまな要素が密接に関連しあいながら層状に発達していく。日本人古来の道徳心、自然環境、民族交流、発見、発明、制度、法制など年月の蓄積の上に現在の生活・仕組みが成立している。大切な土壤をまもるがごとく、国や家族や友人そして職能を愛することができなければ、そして「進んで公共の利益に奉仕」しなければ、大きなものをうしなうことになる。

一年を振り返り、あらためて皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げる。

会 告 1

「新春のつどい」のご案内

年初めの恒例となっております、本会主催による「新春のつどい」開催のご案内を申し上げます。

新春を迎えるにあたり、日頃ご交説をいただいております放射線関連・学校教育機構・関係諸団体・本技師会各位が一堂に会し、新年の抱負を語り、また、情報交換の場としてご歓談いただき、親交を深めていただきたいと存じます。お誘い合わせのうえ、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

開催日時：平成28年1月14日（木）

受付 18時00分～

開宴 18時30分～20時00分

開催場所：「ホテルラングウッド」飛翔の間

荒川区東日暮里5-50-5 Tel 03-3803-1234

JR日暮里駅南口下車 徒歩1分

次 第

- 1) 開会のことば
- 2) 会長挨拶
- 3) 来賓挨拶
- 4) 乾杯
- 5) 懇親（名刺交換）
- 6) 閉会の言葉



会 費：6,000円

新卒かつ新入会員の方は無料です。奮ってご参加ください。

申込方法：会誌の研修会等申込用紙にて、事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



平成27年度第4・5・6回業務拡大に伴う統一講習会

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会 実施：公益社団法人東京都診療放射線技師会

診療放射線技師法が平成26年6月18日に一部改正され、平成27年4月1日施行されました。具体的には、CT・MRI検査等での自動注入器による造影剤の注入、造影剤注入後の抜針・止血、下部消化管検査の実施（ネラトンチューブ挿入も含めて）、画像誘導放射線治療時の腸内ガスの吸引のためのチューブ挿入であり、診療放射線技師の業務内容が拡大しました。以上の業務を行うための条件として、医療の安全を担保することが求められています。この業務拡大に伴う必要な知識、技能、態度を習得することを目標とし、“業務拡大に伴う統一講習会”と称し、2日間にわたり実施することとしました。

本講習は厚生労働省と公益社団法人日本診療放射線技師会が検討したカリキュラムに従い、都道府県放射線技師会が講習会を運営し、一定レベルの講習会を全ての診療放射線技師が受講できる環境を提供することを目的としています。本会において今年度5回実施予定の4・5回目と、南関東地域での未決定分であった6回目を開催します。

記

第4回

日 時：平成28年1月16日（土）13時50分～17時30分（受付13時00分から）
平成28年1月17日（日）8時25分～17時10分

場 所：JR東京総合病院
〒151-8528 東京都渋谷区代々木2-1-3

アクセス：JR新宿駅南口より徒歩5分、JR代々木駅北口より徒歩5分

募集人数：60名

申込み期間：平成27年12月7日～平成28年1月2日

第5回

日 時：平成28年2月27日（土）13時50分～17時30分（受付13時00分から）
平成28年2月28日（日）8時25分～17時10分

場 所：国家公務員組合共済連合会 立川病院
〒190-8531 東京都立川市錦町4-2-22

アクセス：JR西国立駅 徒歩3分、JR立川駅 徒歩15分

募集人数：60名

申込み期間：平成27年12月7日～平成28年2月13日

第6回

日 時：平成28年3月5日（土）13時50分～17時30分（受付13時00分から）
平成28年3月6日（日）8時25分～17時10分

場 所：公益社団法人 東京都診療放射線技師会研修センター
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

アクセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

募集人数：54名

申込み期間：平成27年12月7日～平成28年2月20日

受講料：会員 15,000円、非会員 60,000円

但し、各種講習受講者減免として

会員 静脈受講者：13,000円、注腸受講者：5,000円、静脈注腸受講者：3,000円

非会員 静脈受講者：50,000円、注腸受講者：35,000円、静脈注腸受講者：15,000円

注）今回は、静脈注射（針刺しは除く）講習会受講者のみを受講対象とします

申込方法：JART情報システム内のイベント申込メニューから申し込むこと

注）東放技事務局および東放技HPからのお申し込みはできません

受講料振込等：申し込み後、日放技より振込み先の案内があります

講習会修了基準：次のいずれかに該当する場合は、修了とみなしません

ア) 講習時間15単位（1単位50分）に対し、欠課の合計時間が45分を超えた場合

イ) 欠課が15分を超えたコマが1つ以上あった場合

生涯学習カウント：修了者は日本診療放射線技師会生涯教育カウントが付与されます

以上

プログラム

第1日目1（土）

時限	時 間		内 容	
	13:50～14:00	10	オリエンテーション	——
1	14:00～14:50	50	下部消化管 1	講義（DVD 聴講）
2	14:50～15:40	50	下部消化管 2	講義（DVD 聴講）
3	15:50～16:40	50	下部消化管 3	講義（DVD 聴講）
4	16:40～17:30	50	下部消化管 4	講義（DVD 聴講）

第2日目（日）

	8:25～ 8:30	5	オリエンテーション	——
5	8:30～ 9:20	50	IGRT1	講義（DVD 聴講）
6	9:20～10:10	50	IGRT2	講義（DVD 聴講）
7	10:20～11:10	50	IGRT3	講義（DVD 聴講）
8	11:10～12:00	50	法改正	講義（DVD 聴講）
	12:00～13:00	60	昼休み	——
9	13:00～14:00	60	BLS	実習
10	14:10～15:00	50	下部実習	実習
11	15:00～15:50	50	IGRT 実習	実習
12	16:00～16:50	50	確認試験	試験
	17:00～17:10	10	修了式	

会 告

3

第12地区研修会

第52回日暮里塾ワンコインセミナー 合同開催

今回の第12地区研修会は第52回日暮里塾ワンコインセミナーと合同で、テーマ「高速撮影」で開催します。第12地区の中核病院である東大和附属病院セントラルクリニックが開院して1年が経ちました。最新鋭の3.0TMRIおよび320列CTを有し、高度な画像を提供しています。一般的には1.5TMRIや64列CTが主流ですが高磁場、多配列になることで何が変わらるのか？ CTのスキャンスピードとノイズの関係は？ MRIのパラレルイメージングの基礎から応用のCAIPIRINHAまでを日頃、東大和病院で活躍している診療放射線技師の方々からお話をいただきます。皆さまの参加をお待ちしております。

プログラム

19:00～19:10 入会促進のお話し

19:10～19:30 RSNA報告

19:30～20:30 「高速撮影～3T MRI & 320列CT～」

講師 CT編 東大和病院 高橋雄大 氏
MR I編 東大和病院 野口茂樹 氏

※17:30～19:00 施設見学（東大和病院セントラルクリニック放射線科内）

（見学希望者は本院一階に案内担当がおりますので申し出てください）

記

日 時：平成28年1月21日（木）19時00分～20時30分

場 所：東大和病院 本院7階 会議室

（受付場所：本院7階会議室前）

ア ク セ ス：西武拝島線 東大和市駅下車 徒歩約12分

西武バス 「東大和病院前」下車

受 講 料：診療放射線技師500円（当日徴収）、

一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申

し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※研修会申し込み先は「学術教育」を選択してください。

カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育1.5カウント付与

問い合わせ：第12地区委員長 鈴木 晋 Mail : areal2@tart.jp

学術教育委員長 市川重司 Mail : gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会事務所

TEL・FAX : 03-3806-7724



平成27年度 城南支部研修会

テーマ「小児放射線科医が求める臨床画像～読影補助評価 のためのチェックポイント～」

講 師：自治医科大学とちぎ子ども医療センター 古川 理恵子 医師

小児の検査は、小児専門の機関でない限り多いわけではありません。しかし、いざ行う際、撮影された画像が検査目的に合致しているのだろうかと、不安を感じた経験はないでしょうか。今回の城南支部研修会ではそういう疑問を解決致します。

小児の検査では、まず年代別に正常像を知る必要があります。成長に伴う正常像の変化が、CT、MRI、単純X線写真の画像上において、どのように変化していくのか、診断医が診てているポイントはどこなのかなどを小児の画像を専門に読影されている放射線科の医師にご講義いただきます。小児と成人の違いに重きをおいた内容と、小児特有の疾患や、近年問題となっている虐待を疑う症例などもお話ししてください。

日頃疑問に思いながらも、なかなか学ぶ場が少ないテーマでありこの機会にぜひ、各モダリティからの疑問をぶつけてみませんか？きっと、今後の業務に生かせる講義内容になると思います。多くの皆さまの参加をお待ちしております。

記

日 時：平成28年1月22日（金）19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）

場 所：帝京大学医学部附属溝口病院 研究棟6階

〒213-0002 神奈川県川崎市高津区二子5-1-1

ア ク セ ス：東急田園都市線 高津駅 西口改札より 徒歩約1分

J R 南部線 武蔵溝ノ口駅 徒歩約10分

受 講 料：診療放射線技師500円、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：城南支部委員会 E-Mail：shibu_jyounan@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

第11地区委員長（城南支部委員長） 千葉 利昭

第15地区委員長 原子 満

第4地区委員長 竹安 直行

第8地区委員長 鎌田 治

以上



会 告

5

第14回ウインターセミナー

テーマ 急性疾患ア・ラ・カルトⅡ ～血管画像所見を学ぶ～

第14回ウインターセミナーは急性血管疾患をテーマに掲げ、技師の目線で画像の捉え方を解説いたします。昨年夏の第14回サマーセミナーで好評であったシリーズの第2弾となります。CTなどの画像所見が診断の決め手となります。一次読影という観点からもぜひ知識として押さえておきたいところです。多くの方の参加をお待ちしております。

—プログラム—

15:00-15:30	食道靜脈瘤
15:30-16:00	肺塞栓症（肺梗塞）
16:00-16:40	SMA症候群（上腸間膜動脈閉塞）
16:40-17:10	大動脈解離

記

日 時：平成28年1月23日（土）15時00分～17時10分
会 場：東京医科大学 研究教育棟4階第2講堂 新宿区西新宿6-7-1
ア クセス：JR新宿駅下車 西口より 徒歩約15分
都営大江戸線 都庁駅前駅下車 徒歩約7分
東京メトロ丸の内線 西新宿駅下車 徒歩約1分
受 講 料：会員1,000円、非会員5,000円、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料
定 員：100名（定員になり次第締め切る事もあります）
申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。
カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育2.0カウント付与
日本救急撮影技師認定機構2ポイント付与
問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第8回MRI集中講習会

下記の要領にて第8回MRI集中講習会を開催いたします。

各講義では専門試験問題の解説も含めて行います。

講義には本講習会用に出版した「MRI集中講習（改定版）」をテキストとして使用します。（参加者には無料配布）多くの方の参加をお待ちしております。

～プログラム～

14:00～15:15 原理（基礎）および安全管理（専門試験問題含む）

講師：杏林大学医学部付属病院 宮崎 功 氏

15:20～16:20 パルスシーケンスおよび高速撮像法（パラレルイメージング）（専門試験問題含む）

講師：虎の門病院 高橋 順士 氏

16:20～16:40 ブレイクタイム「MRI用真空固定具の紹介」

講師：株式会社六涛 小田嶋 正 氏

16:40～17:40 アーチファクト（専門試験問題含む）

講師：公立福生病院 野中 孝志 氏

17:40～18:40 脂肪抑制（専門試験問題含む）

講師：東京慈恵会医科大学附属第三病院 北川 久 氏

記

日 時：平成28年2月6日（土）14時00分～18時40分

場 所：公益社団法人東京都放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員3,000円、非会員10,000円（当日徴収）

定 員：50名 ※講義に使用するテキストはMRI集中講習（改訂版）を使用

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育4.0カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

お知らせ

1

第11地区研修会 テーマ「MRI（再）入門」

今回、第11地区ではMRIについての研修会を開催します。「MRI（再）入門」と題しまして、われわれ診療放射線技師が知っておきたいガドリニウム造影剤の基礎と、脳梗塞を中心とした病態から撮像法について皆さんと一緒に勉強できる研修会を企画いたしました。これからMRIに携わる方、MRI初心者の方、この機会に再度基本から復習したい方など、多くの皆さまの参加をお待ちしております。

—プログラム—

- 18:30～ 「ガドリニウム造影剤入門 ～腎機能と副作用～」
エーザイ株式会社 総合マーケティング部 学術・研修担当 岸 直也 氏
- 19:00～ 「頭部MRI入門 ～脳卒中を中心に～」
東邦大学医療センター大橋病院 放射線部
日本磁気共鳴専門技術者認定機構 上級磁気共鳴専門技術者 服部尚史 氏

記

日 時：平成28年2月10日（水） 18時30分～20時30分（受付開始18時00分～）

所：東邦大学医療センター大橋病院 教育棟1F臨床講堂

交 通：東急田園都市線 池尻大橋駅下車 徒歩約6分

：京王井の頭線 駒場東大前駅下車 徒歩約10分

※詳細は東邦大学医療センター大橋病院HP

（<http://www.ohashi.med.toho-u.ac.jp/>）をご覧ください。

受 講 料：診療放射線技師500円、

一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申込方法：area11@tart.jpのアドレスへ氏名・地区・勤務先をお知らせください。もししくは、東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※当日参加も歓迎いたします。

問い合わせ：第11地区委員長 千葉利昭 E-Mail：area11@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724



以上

お知らせ 2

あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する千葉方面・神奈川方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

本会ホームページhttp://www.tart.jp/に各地区の表と地図が掲載されていますので、ぜひ活用ください。



トップページの
ここをクリック

東京都診療放射線技師会からのお知らせ

お知らせ

地区紹介ページ

厚生調査委員会
アンケート結果

2014年度
研究会イベント等の開催予定

会員登録

入会のご案内

入会のご案内

2014/10/17 【お知らせ】平成26年度「電離辺式サ...
2014/10/01 【お知らせ】地区紹介ページを更新しま...
2014/10/17 【研修会】第41回日暮里塾フンコイン...
2014/10/06 【研修会】第4地区研修会（開催日12/4...
2014/10/06 【研修会】第1地区研修会（第2回）（1...
2014/10/06 【研修会】第3地区研修会（開催日11/2...
2014/10/06 【研修会】城南支部研修会（開催日11/...
2014/10/06 【研修会】第7地区研修会（第1回）（1...
2014/10/06 【研修会】第16地区研修会（TART・S...
2014/10/06 【研修会】第40回日暮里塾フンコイン...
2014/10/06 【研修会】第13地区研修会第39回日暮...
2014/10/06 【研修会】第17回メディカルマネジメ...
2014/10/06 【研修会】第38回日暮里塾フンコイン...
2014/09/06 【研修会】第6地区研修会（開催日10/3...
2014/09/06 【研修会】第53回きめこまかなか生涯教...

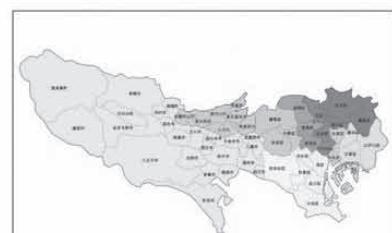
なお、毎月月替りで、各地区の特色や活動を紹介しています。
地区表の上の地区名からリンクしていますので、こちらもぜひご覧ください。

第1地区	第5地区	第9地区	第13地区
第2地区	第6地区	第10地区	第14地区
第3地区	第7地区	第11地区	第15地区
第4地区	第8地区	第12地区	第16地区

情報委員会



城東支部	第1地区	千代田区	
	第2地区	中央区	台東区
	第3地区	墨田区	江戸川区
	第4地区	千葉方面地区	千葉地域
城南支部	第4地区	港区	渋谷区
	第5地区	品川区	大田区
	第6地区	世田谷区	目黒区
	第7地区	神奈川方面地区	神奈川地域
城西支部	第3地区	新宿区	
	第4地区	板橋区	豊島区
	第5地区	練馬区	中野区
城北支部	第6地区	文京区	杉並区
	第7地区	足立区	荒川区
多摩支部	第8地区	稲城市	東久留米市
	第9地区	清瀬市	東大和市
	第10地区	小平市	東村山市
	第11地区	武蔵村山市	
	第12地区	上記、第1・2地区以外の多摩地域	



平成26年度
学術奨励賞 受賞報告



「Digital Subtraction Angiography (DSA) 非搭載心臓
カテーテル専用装置を使用した下肢動脈炭酸ガス造影法の検討」

○ 渡邊真弓、岩崎徳夫、小林 豊、草間正造、落合香那、野口 健、荻原昭世、篠原健一

社会医療法人河北医療財団 河北総合病院 画像診断部

◆背景・目的

当院では、2005年に東芝製 Infinix Celeve CS 心血管診断用シングルプレーンシステム（Digital Subtraction Angiography (DSA) 非搭載）を導入し、主に心臓カテーテル検査を実施してきた。しかし検査内容の多様化により、当院でも下肢動脈炭酸ガス造影検査を実施する必要が生じた。

多くの場合、炭酸ガス造影は下肢血管造影対応のDSA搭載機で撮影されているが、非搭載機種である当院装置を用いて検査が可能かどうか検討した。

◆ 装置の特色

- ・冠動脈造影専用血管撮影装置 (図1, 図2)
- ・有効視野サイズ 5~8インチ
- ・固定式シングルプレーンCアーム
- ・DSA非搭載 (簡易DSA作成アプリケーション付属)
- ・ロードマップ機能、面積線量計非搭載



◆ 使用機器類

- ・Infinix Celeve CS (東芝) 2005年製
- ・Image J
- ・自作水ファントム (模擬血管径5mm / ファントム厚13cm) (図3)
- ・炭酸ガス
- ・造影剤 (オイパロミン370 2倍希釈溶液)

◆ 検討① 管電圧設定

【方法】

自作水ファントムを用い、ファントム内の模擬血管に炭酸ガスと造影剤を同時に注入する。50kV~90kV間を10kVずつ変化させ、撮影。得られた画像に対して、CNR (コントラストノイズ比) を測定する。

【結果・考察】

造影剤は、70kV以上でCNRの値が高かった。(図4)

炭酸ガスのK吸収端は使用管電圧外のため、画質に影響しない。ゆえに60kV以上で炭酸ガスのCNRに大きな差は無かった。(図5)

術中に造影剤と炭酸ガスの双方を使用する場合、設定管電圧は70kV以上が適正と考えられる。

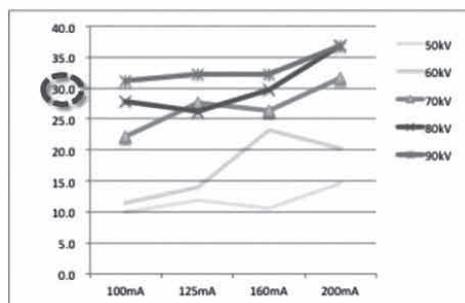


図4 CNR (造影剤)

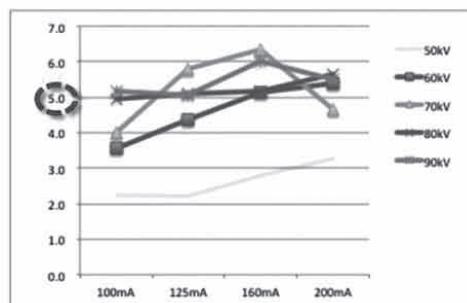


図5 CNR (炭酸ガス)

◆ 検討② パルス幅

【方法】

自作水ファントムを用い、ファントム内の模擬血管に対して炭酸ガスを注入する。パルス幅を 2 ~ 25 msecまで変化させ、撮影。得られた1フレームの画像に対してCNRを測定し、最小値のパルス幅を求める。

【結果・考察】

パルス幅 5msec 以上の値では、CNRに大きな差は見られなかつた。(図6)

測定結果より、パルス幅を5msec以上と設定する事とした。

パルス幅が大きいほど画質は向上するが、装置への負荷がかかるためにDSA非搭載の該装置では自動的にパルス幅が狭小化する傾向にある。

そのため、パルス幅の最小値を装置に設定することで、検査に必要な最低限度の画質を保持することが可能となる。

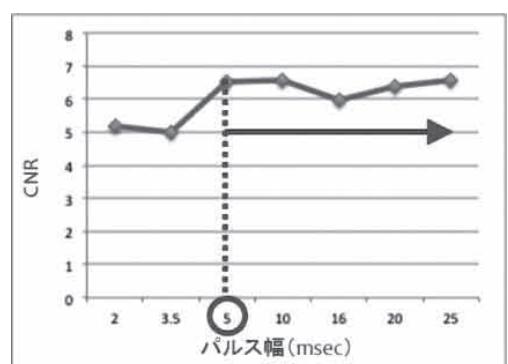


図6 CNR (パルス幅)

◆ 検討③ 撮影フレームレート

【方法】

自作水ファントムを用い、ファントム内の模擬血管に炭酸ガスを注入する。フレームレートを 5~30 f/secまで変化させ、撮影。得られた1秒間の加算画像に対して目視評価を行い、検査で設定可能なフレームレートを求める。

【結果・考察】

検査に携わる技師5名による目視評価を行った。

(図7)

30f/sの場合、1秒間（30フレーム）の画像を再構成すると明らかに処理速度が低下し、使用に適さなかった。

装置搭載CPU、グラフィックボードの処理能力の限界と考えられる。

処理速度と画質とを検討すると、15f/sが最適条件となった。

フレームレート(f/s)	5	10	15	30
目視評価 A	△	△～○	○	○(×)
目視評価 B	△～○	○	○	○(×)
目視評価 C	△	○	○	○(×)
目視評価 D	△	○	○	○(×)
目視評価 E	○	○	○	○(×)

図7. 目視評価

※目視評価は、模擬血管と水ファントムの気泡・粒状性・コントラストを評価した。
(×: 診断に適さない △: 見える ○: 良く見える ○: とても良く見える)

◆ 検討④ DSA処理（加算枚数）

【方法】

実際に撮影した炭酸ガス造影の画像を用い、アプリケーション上でDSA処理を行なう。加算枚数を変化させ、画質を評価する。

また、画像再生までの処理速度についても評価を行う。

【結果・考察】

結果より、DSA処理は加算枚数10枚を基本とする事とした。(図8)

加算枚数20枚では血管のコントラストや粒状性が良かったが、画像処理の速度が遅く、臨床では使用できないと判断された。

加算枚数10枚と15枚では画質的には大きな差異が見られなかったため、処理速度の速い加算枚数10枚を基本とする事とした。

加算枚数5枚では画質に難があり、治療には適さないとした。

加算枚数	5	10	15	20
目視評価	△	○	○	○
処理速度	○	○	△	×

加算5

加算10

加算15

加算20

図8 DSA加算枚数の目視評価と処理速度評価

◆ 検討項目①～④ まとめ

- ・管電圧設定：70kV以上
- ・パルス幅：5msec以上
- ・撮影フレームレート：15f/s
- ・DSA処理（加算枚数）：10枚

検討結果で得られた設定を用いて撮影することにより、当院の装置でも炭酸ガス造影検査が可能となつた。(図9)

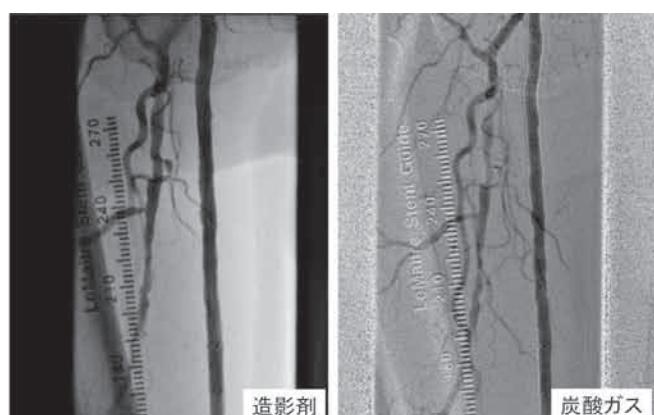


図9 最終画像（浅大腿動脈領域における、造影剤と炭酸ガス造影の比較）

◆ 結語

- ・ DSA非搭載装置であっても、撮影条件を自ら設定するなどの工夫を行うことにより、炭酸ガス造影検査が可能となった。
- ・ 通常はあまり使用しない設定項目の検討や、アプリケーションなども駆使するため、装置自体に対する理解が深まった。
- ・ 新たに手技が追加されたことにより、患者に対する治療の選択の幅も広がり、スタッフの意識も向上する結果となった。
- ・ 基礎値の設定がされたことにより、その他のDSA検査にも対応可能となった。

◆ 追記

当院では、2015年7月に新規血管造影装置（DSA対応）が導入された。

その際、これまで使用していた旧カテ装置のプロトコルと、新カテ装置のプロトコルとの入射線量率の比較を行った。（図10）

結果、旧カテ装置での炭酸ガス造影プロトコルの線量率は旧カテ装置のEVTプロトコルよりやや高いものの、旧カテ装置の冠動脈プロトコルより低線量であることがわかった。また、新カテ装置の冠動脈プロトコルよりやや線量率が高いものの、新カテ装置の下肢DSAプロトコルの半分以下の線量だった。

今回の検討で作成されたプロトコルがDSA撮影の中でもかなり低線量であったことが結果として確認できた。

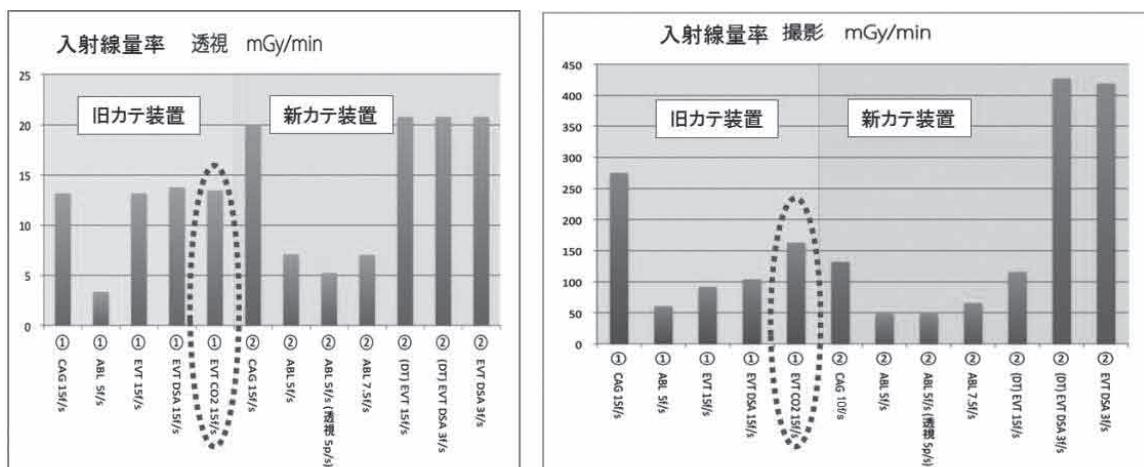


図10 旧カテ室と新カテ室でのプロトコル別入射量率の比較

誌上講座 超音波

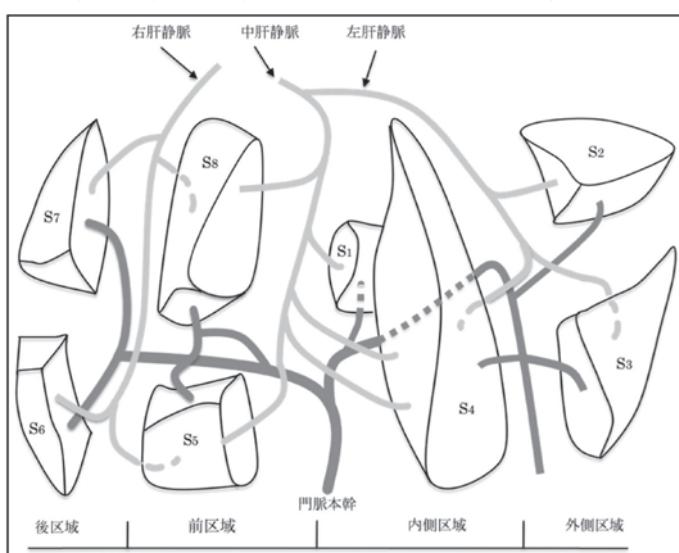
超音波検査 はじめの一歩 (VOL.3-腹部)

小原 和史 (横須賀市立うわまち病院診療放射線科)

腹部超音波検査について

腹部領域における超音波検査の使用目的は、健診によるスクリーニングや特定臓器疾患の早期発見を期待した“検診”をはじめ、病院等の医療機関で行われる精密検査においても重要なモダリティーのひとつであり、画像診断上なくてはならない存在です。

放射線を人体に照射する事なく、リアルタイムに軟部組織の高コントラストな構造情報や血流情報が得られるこの検査は、被検者に優しい反面、その検査結果に術者の技量と知識がリアルに反映されてしまう大変恐ろしい検査とも言えます。腹部超音波検査は心臓や血管系の超音波検査と比べ“難しい”という声をよく聞く事があります。決して心・血管エコーが簡単であるという訳ではなく、対象臓器と疾患の多さ、機能診断というより形態診断であり、走査方向の違いによる描出画像を理解しにくいとのことで、検査レポートに“異常所見なし”と書くには相当な勇気が必要であるとのことでありました。実際に対象となる臓器には肝臓、胆嚢、胆道、脾臓、(脾臓)、消化管を含んだ消化器系や腎、尿管、膀胱、前立腺、精嚢腺、睾丸、陰茎を含んだ泌尿器系、また子宮、卵巣を中心とした婦人科系、これらに腹部血管やリンパ節、体表組織が加わり実に賑やかな領域が対象になります。“膀胱や子宮卵巣は下腹部で上腹部超音波検査のオーダー枠から外れているから検査は行いません”と言うのは正しい考え方かも知れませんが、それで検査を終わらせていいのでしょうか？例えば腎孟腎杯の拡張所見があった場合、その拡張原因をどこまで検索するのかによっては、検査結果の情報量と次にその患者が受けることになる精密検査を省ける可能性もあります。拡張した尿路が腎孟尿管移行部までなのか、総腸骨動脈交差部なのか、膀胱開口部はどうなのか、音響陰影を伴ったstrong echoはあるのか、尿管壁の肥厚を伴った腫瘍なのか、筋腫や周囲臓器疾患からの圧排などのなど。検査レポートに“腎孟腎杯の拡張を認め、水腎症を考えます”と書くのか、“拡張した腎孟腎杯から尿管を追跡すると膀胱開口部に音響陰影を伴った結石を認めます。要因ともなる副甲状腺の腫大がみられ、機能亢進症の可能性も考えられます”と書くのでは、同じ金額の検査料を支払って患者が得られる検査結果の質は明らかに違ってくるのです。プローブを握る術者は見落としのないようにくまなく対象臓器を走査し、正常とは違う所見を探し、裏付けとなる関連所見を追加して、第三者が見ても納得出来る画像と、所見レポートを残す必要があります。そのためには音の特性を理解する事、対象臓器の正常解剖の理解、所見を拾い上げる動体視力に富んだ眼、病気・病態を知りパターン認識しない正しい検査レポート作成能力が必要となります。



肝の解剖を理解する

一般的に用いられる区域解剖はcouinaud (クイノー) の8区域分類です。この8区域を描出した断面像で理解するポイントは、門脈枝はその肝区域の中心を走行し、肝静脈は区域間を走行すること【図1】。描出時のプローブの角度 (超音波入射角度) によっては、モニターの下側に映っている区域は背側ではなく頭側や足側であること。チルティング (扇状走査) によって前後左右の関係を確認することです。

【図1】

区域同定の方法

区域と区域間の指標		
左葉	S1	尾状葉
	静脈管索	
	S2	外側上区域
	左肝静脈	
	S3	外側下区域
	門脈左枝臍部・肝円索	
	S4	方形葉
	中肝静脈・Cantlie line	
右葉	S5	前下区域
	S8	前上区域
	左肝静脈	
	S6	後下区域
	S7	後上区域

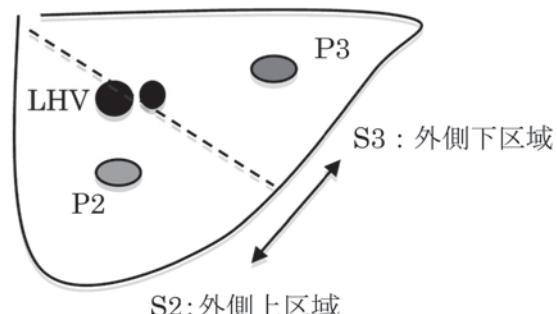
【表1】

クイノーの分類は、胆嚢窩と下大静脈を結んだ仮想線（Cantlie line）によって右葉と左葉に大きく分け、下大静脈周囲の尾状葉を中心に入門脈枝に沿って反時計周りに区域を分類したもので、実際には各区域は繋がっており明確な境界は存在してません。（【表1】に区域間の指標を示す）S1とS2の境界には静脈管索が索状の高エコーな構造物として描出され、S2とS3の境界には左肝静脈が走行します。S3とS4の間には門脈左枝臍部が存在し、その腹側には高エコーな肝円索が描出できます。右葉と左葉の境界はCantlie lineにほぼ一致するとされる中肝静脈でチルティングした面を参考にします。S5、S8（前区域）とS6、S7（後区域）の間は右肝静脈が走行します。S5、S8とS6、S7にはそれぞれの門脈枝で同定できるが、右肋間走査でS6の門脈枝を観察する場合、プローブ側に向かって走行する場合が多く、S7の門脈枝と同時に描出しようとすると断片的な血管として観察されます。

区域の覚え方

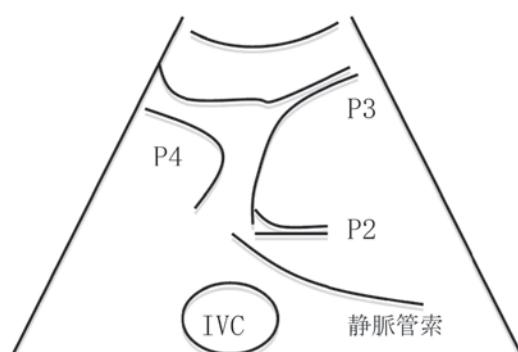
S1～S8までを“segment”的“S”で覚えるのではなく、日本語で覚えるとその部位が理解しやすくなります。S1：尾状葉は左葉内側にある尾っぽのように突起した小さな領域、S2：外側上区域は左葉の外側上方の領域、S3：外側下区域は外側下方の領域、S4：方形葉は左葉内側に

ある四角い屋根のような領域で8区域中最大の容積があります。S5：前下区域は腹側下方の領域、S8：前上区域は腹側上方の領域、S6：後下区域は背側下方の領域、S7：後上区域は背側上方の領域。ここで、腹側を前、背側を後とした日本語で覚えると肝臓の中の区域がイメージしやすくなります。



【図2】

心窓部縦走査で左葉を観察すると、門脈枝P2（P:portal vein）、P3と左肝静脈が描出できる【図2】。左肝静脈の面で外側域を分けると、P3の支配であるS3は、P2の支配であるS2より体表面（腹側）に近く“上側”では？と感じますが、ここで表現する上側とは画面の左側（頭側）であり、右側は下側（足側）となります。また、体表面側は前側、背側は後側です。



【図3】

心窩部横走査でやや頭側へプローブを振ると、門脈左枝臍部から左葉外側区域と内側区域の一部が描出でき【図3】、門脈枝P2、P3、P4の各枝を中心としたS2、S3、S4の一部とIVCと静脈管索の間のS1の一部が横断像となります。



【図4】

心窩部～右肋弓下で斜め走査を行い、門脈を左枝臍部から右葉側へ追跡すると、前区域枝と後区域枝に分岐します。この画面では、胆囊もしくは胆囊周囲の高エコー帯（胆囊床）と下大静脈を結んだ仮想線で左葉と右葉に区分されます【図4】。S4は門脈左枝臍部とこの仮想線の間で下大静脈の腹側のS1を除いた部分、胆囊と前区域枝の間はS5となります。後区域枝のP6は手前側に走行しS6の一部が描出され、P7は画面下方でIVC寄りがS7となります。心窩部横走査や肋弓下走査では、プローブの振り角（超音波ビームの入射角度）を考え、画面下方に写した断面が身体のどの部分に届いたビームの画像であるかを立体的に理解する必要があります。



【図5】

右肋間走査は、右門脈枝を抹消側まで描出できるような走査法です。右肝静脈より腹側で画面左側（頭側）へ走行するP8と足側へ走行するP5が前枝から分岐するのが分かります。肋間走査では肋間にプローブを入れ、肋間内でチルティングを行います。肋間が狭い患者では、肋間に置いたプローブを固定し、ゆっくりとした吸気呼気の指示を出し、一肋間毎移動を行う方法もあります。【図5】では画面の両サイドが欠損しており、プローブの密着や肋骨の影響が考えられますが、ゼリーを多めに塗る事で対処出来る場合もあります。P8、P5を中心にS8とS5が同定できますが、右肝静脈の走行面より腹側（前側）であることを理解しましょう。

脈管の覚え方

肝には3種類の血管が流入出します。腹腔動脈より分岐した肝動脈、上腸間膜静脈より脾静脈と合流した門脈、肝から下大静脈へ戻る肝静脈です。肝動脈と門脈の血流量は圧倒的に門脈が多く血管径も太く観察されます。肝区域を同定する場合も肝動脈と並走する門脈枝が使用される所以です。門脈は枝のように複雑に曲がって走行するのに対し、肝静脈は直線的に走行します【図6】。超音波で門脈枝を観察すると、門脈の周囲に高エコーな縁取りが現れます。これはグリソン鞘Glisson sheath（壁）の反射によるものです。この鞘の中を門脈と動脈と胆管が走行します。一方肝静脈は縁取りの無い脈管として描出されますが、右肋弓下斜め走査で右肝静脈を観察すると、右肝静脈壁に超音波ビームがまっすぐ入射した場合には比較的縁取りのある血管として描出されます。肝動脈枝は通常描出され難く、肝内門脈枝に沿って胆管枝とともに並走します。静脈管索は胎生期の静脈管（アランチウス管）の遺残、肝円索は臍静脈の遺残ですが、肝硬変等による門脈圧亢進症では側副血行路として再開通する場合があります。



【図6】

門脈は複雑に曲がって走行するが、肝静脈は直線的に走行する。



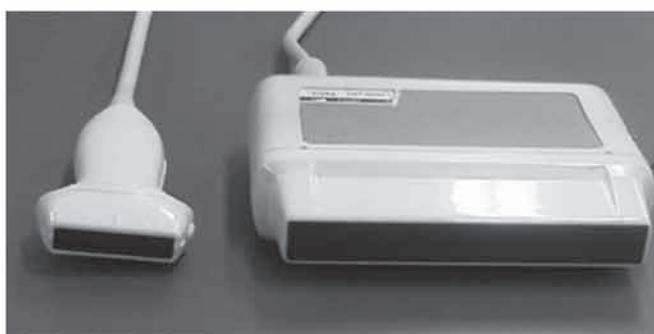
【図7】

左、中肝静脈は軸位方向の走査となるため、血管壁のエコーは少ないが、右肝静脈など血管壁に入射する角度が大きいと壁からのエコーによってしばしば高輝度に縁取られることもあります。

参考文献

- 1) 松原 薫：日本放射線技術学会誌 第56巻 第10号 1218~1230 (2000)
- 2) 菅 和雄、関口隆三：わかる音響の基礎と腹部エコーの実技、東洋書店、東京 (2002)
- 3) 辻本文雄、松原 薫、井田正博：腹部超音波テキスト改訂版、ベクトルコア、東京、(1992)
- 4) 超音波基礎技術テキスト：日本超音波検査学会特別号Vol.37 No7 December (2012)
- 5) 金森勇雄 等：最新腹部超音波検査の実践 基礎から造影検査まで、医療科学社、東京、(2008)

超音波 今むかし



左は現在のリニアプローブ（高周波）。右は30年ほど前に多用された3.5MHz前後のリニアプローブ。落下防止のためのストラップがついている。多人数の検査では重くて持つ手が疲れ、スライス方向も長いため、痩せた方の、特に肋間走査などでは両サイドが密着しないなどの難があった。（菅 和雄）

第14回城北支部研修会印象記

東京大学医学部附属病院 森田俊之

今回の研修会は、「着るロボット」として知られる、ロボットスーツ「HAL（ハル）」の医療・福祉分野での活用というテーマで、東京大学医学部附属病院リハビリテーション部 長谷川真人先生に講義していただきました。

“HAL”は、筑波大学の山海嘉之教授とその研究室により発明・開発され、現在では筑波大学のベンチャー企業CYBERDYNE株式会社が更なる開発・製造している装置で、筋肉を動かそうとする際に生じる「生体電位信号」をセンサーで皮膚から読み取り、関節部のモーターを動かします。装着した人と一体になって動き、立ち座り、歩行などの動作を支援するロボットです。

まず、“HAL”が実際に臨床で使用されている現場の映像を見せていただきました。使用前の神経・筋疾患者は、自らの意思では思うように動けていませんでした。私が洞疾患の患者に対し思い浮かぶような動きで、動かしたいけど動かせないもどかしさが伝わってきました。次に“HAL”を装着し、足を前に出そうとすると、装着したHALと一緒に前にでる身体機能を補助している様子が分かりました。その後、HALを外し、患者自身の力で歩く様子が映像で流れました。ゆ

っくりとではありますが、装着前には自立した歩行ができない状態だった患者が、支えだけで歩いていました。

長谷川先生の講演後、実際に私は、“HAL”を装着させていただけたことになりました。始めに座った状態から立つ動作です。私は立とうと思いましたが、動きません。“HAL”は、身体機能を補助・改善するものですので、念じただけでは動きません。仕切りなおして座位から立つ動きをしました。グッと腰を押され、足も伸ばすように力が掛かり、すんなりと立つことができました。次に歩行の体験です。足を前に出そうとすると足を前に出す力が掛かります。後ろの足も引きつけようすると引っ張る力が掛かります。体験をした最初の感想は、凄いというよりは、力が掛かりすぎて転んでしまうので動くのが難しいと感じました。歩く動作を何度も続けていく中で、だんだんとHALの力の掛け具合にも慣れ歩くのが快適でした。

今回「着るロボット“HAL”」の医療・福祉分野での活用について、非常に興味深く、ロボットが医療分野で使われる現状に驚きがありました。また、実際にHALを装着し、話や映像だけでは得られない貴重な体験ができたことをうれしく思います。



第14回城北支部研修会印象記に参加して

新葛飾病院 小島 葵

平成27年9月25日、城北支部研修会「ロボットスーツHALの医療福祉分野への利用について」に参加、体験させていただきました。

人が身体を動かそうとするときに発生する「生体電位信号」を読み取り、その運動をアシストするロボットスーツHALについてお話を聞かせていただきました。主に脳や神経に障害が発生した患者さんに用いられ、外国ではすでに保険の適用が認められていることなど、さまざまなお話を聞かせていただきました。

中でもHALを装着する人、一人ひとりに合わせて治療が可能であることが印象に残りました。サイズはもちろん、アシストの強さ、HALの可動範囲の調整、重心の表示など身体の状態に合わせることが可能だそう

です。そして「iBF仮説」に基づいた機能改善により、最終的にはHALを必要とせず運動を可能とすることを目的としていることに感銘を受けました。

下肢用HALを装着しての歩行の様子も見学させていただきましたが、最初はぎこちない動きであったのが、数分もするとスムーズに歩行できるようになっていたことに驚かされました。また自分自身も肘用単関節HALを体験させてもらいましたが、ほとんど力を入れなくともかなりのアシストを受けられました。またHALの動作が自分自身の動きと、ほとんどタイムラグを感じず動いたことにも驚きました。

最先端の技術と医療への利用についての、貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。



第14回城北支部研修会印象記で感じたこと

新葛飾病院 斎藤正人

東京大学医学部附属病院にて開催された、城北支部研修会に参加させていただきました。「ロボットスーツHALの医療、福祉社会への活用について」というテーマで、これから介護を支援していくロボットスーツについて勉強させていただきました。

ロボットスーツと聞くと、常人の力をはるかに上回る身体能力を発揮するアイアンマンのようなイメージがありました。今回紹介していただいたのは介護用ということで、立ち座りや歩行動作が困難な方を補助するものでした。単関節・腰・下肢とそれぞれタイプがあり、実際に一部の施設では運用されているようです。システムとしては使用者に電極を張り、そこか

ら得られる生体電位信号で動作する仕組みです。信号の強度が調節可能で腕や足が不自由で、電位信号が弱い方でも動かせるような仕様でした。生体科学を応用した技術に驚き、またデザインも相まって近未来感がありました。これからさらに進む、高齢化社会に向けて活躍が期待されると思います。今後、サイボーグ型の生活支援ロボットが、日常のあらゆるところで目に見える日が来ることが楽しみです。

今回、貴重な体験をさせていただいた講師の長谷川真人氏、ならびに機会を設けていただいた城北支部委員会の皆さんに大変感謝をしております。ありがとうございました。



第49回日暮里塾ワンコインセミナーに参加して

S. F (学生)

平成27年9月30日に開催された第49回日暮里塾ワンコインセミナーに参加し、帝京大学医学部附属病院の森剛先生による「基礎からの一般撮影」の講義を受けました。

正確性・安全性・迅速性・再現性を意識した、頭部・脊椎・体幹部・上肢・下肢の撮影法について教えていただきました。

題目の通り基礎的な部分からお話ししてくれる講義だったので、学生の私にとってもわかりやすい内容でした。「人体や関節腔の構造、骨の形状から、撮影の入射角度や体位を考察することで見たい部分が見えるようになる」と、多くの写真やポイントとなる点をスライドに映しながら講義をしてくださいり、理解しやすく印象深いものとなりました。

また、「股関節脱臼患者の注意すべき点」についてのお話しもあり、知らなければ患者さんに怪我をさせてしまう可能性があるという事についても教えていただきました。

この講義は私が臨床実習中に開催されたものだったので、今回お話ししてくださった内容に注目して残りの臨床実習を過ごすことができ、より濃いものとなつたので講義を受けて良かったと思いました。

私が診療放射線技師として働き始めるのは何年か先の話になりますが、今回の研修会で教わった事を思ったことを忘れずに、これからも勉強していきたいと思います。森剛先生、診療放射線技師会の皆さま、ありがとうございました。



平成27年度第2回
肺がん検診従事者講習会のお知らせ
(東京都生活習慣病検診従事者講習会)

- 1 実施日：平成27年12月4日(金曜日) 15時30分から17時30分まで
- 2 会場：東京都がん検診センター 3階 講堂
- 3 対象：都内の施設で肺がん検診に従事している医師、診療放射線技師、細胞検査士、臨床検査技師、保健師、事務職、保健所・区市町村の職員 等
- 4 受講定員：先着50名程度
- 5 受講料：無料
- 6 申込方法：
①『インターネット』当センター ホームページ(講習会・研修会希望の方へ)
から「インターネット予約」にてお申込みください。
URL http://www.tokyo-cdc.jp/kousyuu/kensyuu/juujisya_kousyuu.html
②『FAX』裏面申込書に必要事項をご記入の上、お申し込みください。
- 7 申込締切：定員に達し次第(当センターホームページをご確認ください)
- 8 テーマ及び講師：

肺がん検診における胸部X線写真読影の
注意点について～発見症例から学ぶ～

公益財団法人岡山県健康づくり財団附属病院
院長 西井 研治 先生

〈講習概要〉 胸部X線は1枚の写真で胸部全体の所見が得られるという情報量の多さ、施行の容易さ、低被ばく、費用効率などの点で優れた検査法であり、現在でも肺がん検診の主役である。しかし、大多数の正常X線の中から小さな肺がんを見つけるためには経験と努力が必要である。検診フィルムの読影に際し注意する点を提示したい。

《お申込み・お問合せ先》

公益財団法人 東京都保健医療公社 東京都がん検診センター 研修担当：尾林
〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-9-2
TEL: 042-327-0201 FAX: 042-327-0297
E-mail: togan@tokyo-cdc.jp

※東京都生活習慣病検診従事者講習会の「お知らせ」および「申し込み」は、次のホームページから。
URL: <http://www.tokyo-cdc.jp/>

**平成27年度 第2回
肺がん検診従事者講習会申込書
(東京都生活習慣病検診従事者講習会)**

- 1 テーマ及び講師 『肺がん検診における胸部X線写真読影の注意点について～発見症例から学ぶ～』
公益財団法人岡山県健康づくり財団附属病院 院長 西井 研治 先生
- 2 日 時 平成27年12月4日（金曜日）15時30分から17時30分まで
- 3 会 場 東京都がん検診センター 3階講堂
上記の講習会を申し込みます。

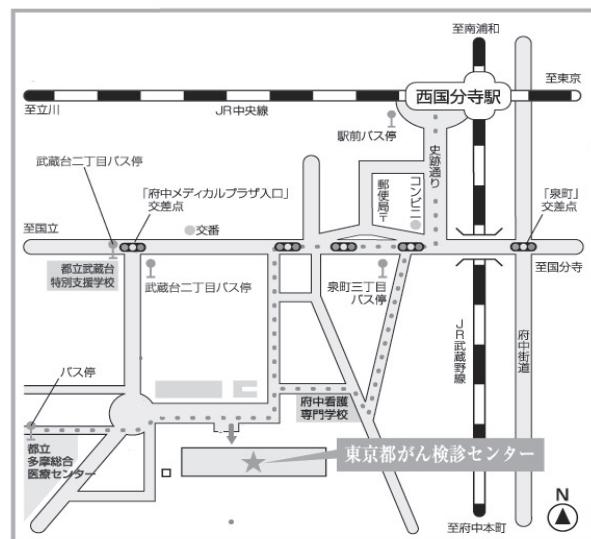
申込者氏名	(ふりがな)			
職 種				
	勤務先	名称		
		住所	(〒 - - -)	
TEL			FAX	
E-mail				

注: 受講いただけない場合のみ連絡いたしますので、EメールまたはFAXのどちらかを必ずご記入ください。また、定員間近の場合、インターネット予約が優先となる場合がございます。ご了承ください。

《会場》東京都がん検診センター 3階講堂

〒183-0042 東京都府中市武蔵台2丁目9番2号
TEL:042-327-0201 FAX:042-327-0297

- JR中央線・武蔵野線「西国分寺駅」
徒歩15分
西国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
(所要時間5分)
- JR中央線「国分寺駅」
国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
(所要時間10分)
- JR中央線「国立駅」
国立駅南口「総合医療センター」経由「府中駅」行バス
終点下車
(所要時間10分)
- 京王線「府中駅」
「国立駅」行バス 総合医療センター下車
(所要時間20分)



Pipe line

パイプライン

平成27年度 東京都がん検診センター
マンモグラフィ研修会（読影補助編）

マンモグラフィ検査に携わって間もない方、基礎から学びたい方を対象に、読影の基礎を内容とした研修会を実施します。用語の解説などの講義を行い、読影実習では実際に症例を見て読影し解説を行います。

- 1 対 象： 診療放射線技師

2 実施日時： 第3回 平成27年12月10日（木） 13:55～17:30
第4回 平成27年12月11日（金） 13:55～17:30
※2回とも同じ内容です。

3 内 容：
13:55～ オリエンテーション
14:00～15:00 講義『乳がん検診の概要と所見用語の解説』 当センター診療放射線科技師
15:10～17:30 臨床マンモグラム読影実習（グループ実習） 当センター診療放射線科技師

4 会 場： 東京都がん検診センター 2階研修室（下図参照）

5 募集定員： 各回 先着36名（定員に達した時点で締め切ります）

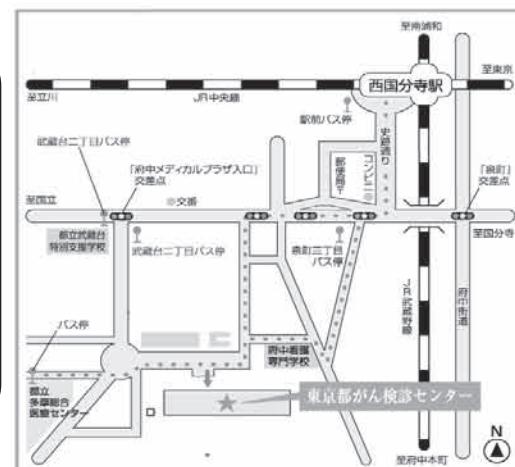
6 受 講 料： 3,000円（当日、お持ちください）

7 持 ち 物： ルーペ（写真読影時に使用）、筆記用具

8 申込方法：①メールアドレスをお持ちの方
当センターHPから『インターネット予約』
(<http://www.tokyo-cdc.jp/kousyuu/kensyuu/asp.html>)からお申し込みください。
②メールアドレスをお持ちでない方
申込書をFAXにて下記までお送りください。
*FAXにてお申込みいただいた方全員に、受講の可否をご連絡いたします。

9 申込み及びお問合せ先
(公財)東京都保健医療公社 東京都がん検診センター 経理係 藤澤
〒183-0042 東京都府中市武藏台2-9-2
TEL:042-327-0201（代） FAX:042-327-0297 E-mail: togan@tokyo-cdc.jp

- JR 中央線・武藏野線「西国分寺駅」
徒步 15 分
西国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
 - JR 中央線「国分寺駅」
国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
 - JR 中央線「国立駅」
国立駅南口「府中駅」行バス 終点下車
 - 京王線「府中駅」
「国立駅」行バス 総合医療センターや下車



平成27年度 東京都がん検診センター
マンモグラフィ研修会 ~読影補助編~
受講申請書

参加希望日に○をしてください。

() 第3回 平成27年12月10日(木) 13:55~17:30

() 第4回 平成27年12月11日(金) 13:55~17:30

ふりがな
氏名 _____ 性別 男・女

勤務先名称 _____

郵便番号 〒 _____

住所 _____

電話番号 _____

受講連絡先 _____
(FAX)

*お申込みいただいた方全員に、受講の可否をFAXにてご連絡いたします。

マンモグラフィ経験年数 _____

超音波スクリーニング研修講演会2015有明のご案内

■会期：平成27年12月12日（土）午前9時25分～午後4時40分

*開場・受付開始：8時30分から

■会場：TOC有明ウエストタワー20階 コンベンションホール（WEST GOLD20）

東京都江東区有明3-5-7

*埼京線・りんかい線『国際展示場』駅より徒歩3分

*ゆりかもめ『有明』または『国際展示場正面』駅より徒歩4分

*アクセス <http://www.toc-ariake.jp/conv.html>

■参加費：5,000円 事前登録不要

■主催：特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク（理事長：桑島 章）

■共催：日本消化器がん検診学会／日本総合健診医学会

■後援：日本超音波検査学会／超音波検査法フォーラム／全国労働衛生団体連合会

日本臨床衛生検査技師会／東京都臨床検査技師会／神奈川県臨床検査技師会

日本診療放射線技師会／東京都診療放射線技師会／神奈川県放射線技師会

■問合せ：E-mail：us-net@pl-tokyo-kenkan.gr.jp（事務局）

*超音波検査士更新5点が付与されます。

*ランチョンセミナーで軽食（800食限定）の用意をしています。

*超音波関連書籍の展示販売を行います。

プログラム テーマ「USスクリーニングに必要な知識」

09：30～10：15 『腎・膀胱』 関口 隆三（東邦大学医療センター大橋病院）

10：30～11：15 『胆道』 岡庭 信司（飯田市立病院）

11：30～12：15 『頸部領域…甲状腺・リンパ節他…』

宮川 めぐみ（虎の門病院）

12：45～13：30 ランチョンセミナー 『基礎と臨床の接点』

佐々木 博（国際医療福祉大学）

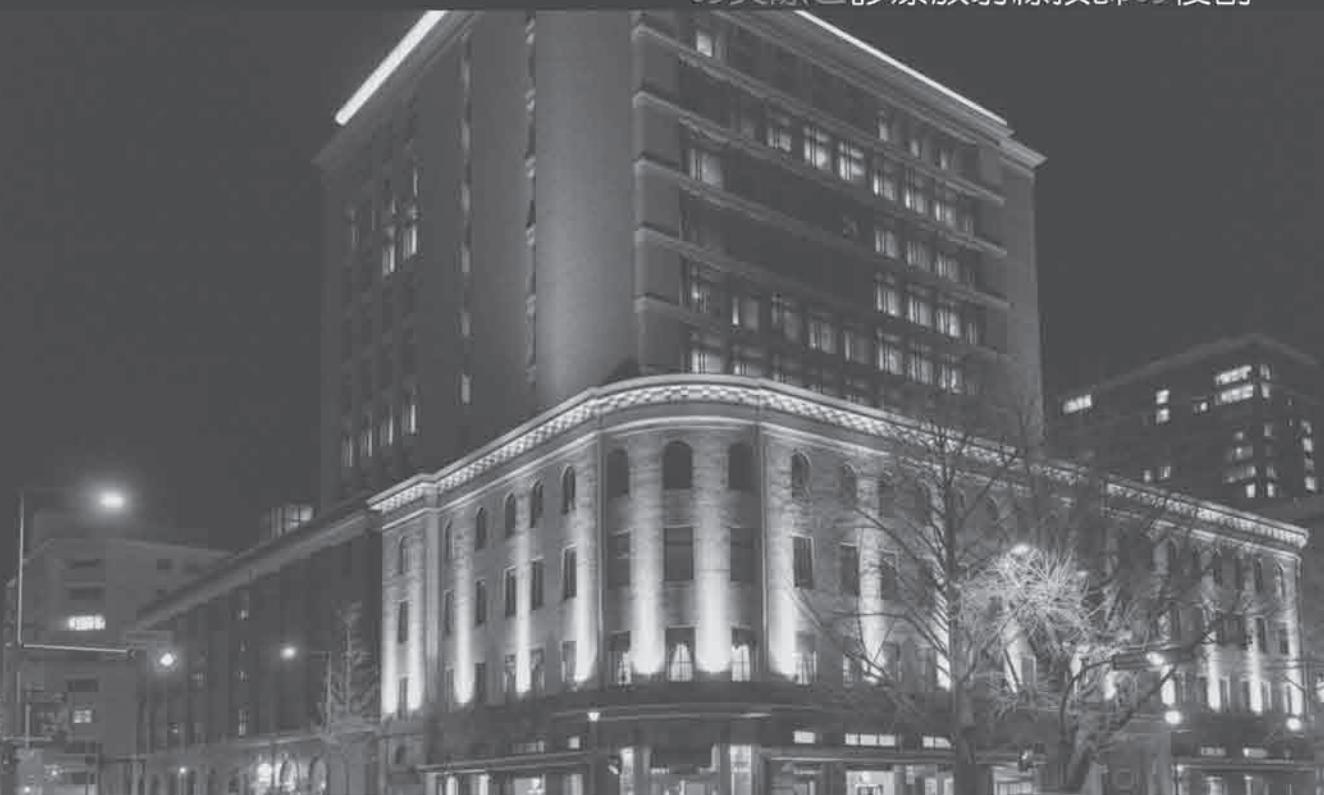
13：50～14：35 『肝臓』 森 秀明（杏林大学医学部付属病院）

14：50～15：35 『乳腺』 何森 亜由美（高松平和病院）

15：50～16：35 『脾臓』 平井 都始子（奈良県立医科大学附属病院）

第2回 ステップアップセミナー

– ステントグラフト内挿術（*TEVAR・EVAR*）
の実際と診療放射線技師の役割 –



日時 平成 28 年 1 月 9 日 (土) 14:20 ~ 18:00

場所 横浜情報文化センター 6F 情文ホール
(〒231-0021 横浜市中区日本大通11番地)

交通 みなとみらい線 / 日本大通り駅 3番出口直結

受講費 JSRT会員 1,000 円 / 非会員 2,000 円

他職種の方の参加
も歓迎いたします

募集定員：200 名（先着順 定員になり次第募集終了となります）

募集 申込期間：平成27年11月9日（月）～平成27年12月4日（金）

申込方法：関東Angio研究会ホームページ（JSRT関東支部）

※詳細は裏面をご覧下さい。

JSRT関東支部 関東Angio研究会

Pipe line

パイプライン

平成27年度 東京都がん検診センター
マンモグラフィ研修会(ポジショニング入門)

マンモグラフィ検査に携わって間もない方、基礎から学びたい方を対象に、マンモグラフィ撮影技術に関する講義と実際に装置を使用しての実習を行います。

- 1 対象：診療放射線技師

2 実施日：第5回 平成28年1月14日（木） 13:25～17:00
第6回 平成28年1月15日（金） 13:25～17:00
※2回とも同じ内容です

3 内容：講義『ポジショニング』
グループ実習（ポジショニング実習・CC,MLO 各ケーススタディ）

4 会場：東京都がん検診センター 2階研修室（下図参照）

5 募集人数：各回 先着30名程度

6 受講料：3,000円（当日、お持ちください）

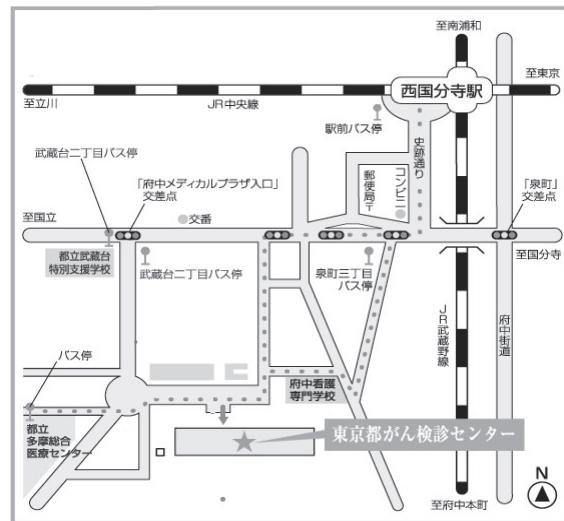
7 持ち物：筆記用具

8 申込方法：①メールアドレスをお持ちの方
当センターHP 講習会予約フォーム
(<http://www.tokyo-cdc.jp/kousyuu/kensyuu/asp.html>) からお申し込みください。
②メールアドレスをお持ちでない方
申込書をFAXにて下記までお送りください。
FAXでお申込みいただいた方全員に、受講の可否をご連絡いたします。

9 申込み及びお問合せ先
(公財) 東京都保健医療公社 東京都がん検診センター 研修担当 藤澤
〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-9-2
TEL:042-327-0201（代） FAX:042-327-0297 E-mail: togan@tokyo-cdc.jp

＜研修会場案内図＞

- JR 中央線・武藏野線「西国分寺駅」
徒歩 15 分
西国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
 - JR 中央線「国分寺駅」
国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
 - JR 中央線「国立駅」
国立駅南口「府中駅」行バス 総合医療センター下車
 - 京王線「府中駅」
「国立駅」行バス 総合医療センター下車



*この研修会は日本乳がん検診精度管理中央機構の講習会ではありません。

*お知らせは、当センターホームページからもダウンロードいただけます。 URL <http://www.tokyo-cdc.jp/>

平成27年度 東京都がん検診センター
マンモグラフィ研修会～ポジショニング入門～
受講申請書

参加希望日に○をしてください。

() 第5回 平成28年1月14日(木) 13:25～17:00

() 第6回 平成28年1月15日(金) 13:25～17:00

ふりがな
氏名 _____ 性別 男・女

施設名 _____

住所 _____

電話番号 _____

受講可否連絡先 _____
(FAX)

マンモ経験年数 _____

マンモ撮影人数 _____ 人／週

FAXでお申込みいただいた方全員に、受講の可否をご連絡いたします

平成27年度 東京都がん検診センター 第2回乳がん検診従事者講演会のお知らせ

- 1 実 施 日 : 平成28年1月16日(土曜日) 14時から16時まで
- 2 会 場 : 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 102室(下図参照)
- 3 対 象 : 乳がん検診に従事している医師、臨床検査技師、診療放射線技師、看護師 等
- 4 受 講 定 員 : 先着150名程度
- 5 受 講 料 : 3,000円(当日お持ちください)
- 6 申 込 方 法 : ①メールアドレスをお持ちの方
当センターHP 講習会予約フォーム
(<http://www.tokyo-cdc.jp/kousyuu/kensyuu/asp.html>)からお申し込みください。
②メールアドレスをお持ちでない方
申込書をFAXにて下記までお送りください。
受講いただけない場合のみ、受講連絡先にご連絡いたします。
- 7 申 込 メ ケ : 定員に達し次第(当センターホームページをご確認ください)
- 8 テーマ及び講師

『マンモグラフィと超音波の総合判定』 独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 高度診断研究部・放射線科 遠藤 登喜子 先生

乳房超音波検査が対策型乳がん検診に導入されるかは不透明ですが、任意型検診においては現在でも重要な役割を果たしています。検診においていずれかの検査でカテゴリー3以上の場合に要精査と判定されれば、要精査率が過剰に上昇し、検診のHarmが大きくなります。両者を総合的に判定し、より精度の高い検診を実現するため、日本乳癌検診学会総合判定委員会から「マンモグラフィと超音波検査の総合判定マニュアル」が発刊され、日本乳癌検診学会と日本乳がん検診精度管理中央機構との共催で講習会も予定されています。今回の講演ではマンモグラフィと超音波の総合判定について、症例を交えてお話しします。

《お申込み・お問合せ先》

公益財団法人東京都保健医療公社 東京都がん検診センター 研修担当: 藤澤
〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-9-2
TEL: 042-327-0201 FAX: 042-327-0297
E-mail: togan@tokyo-cdc.jp URL: <http://www.tokyo-cdc.jp/>

《会場案内》



独立行政法人 国立青少年教育振興機構
国立オリンピック記念青少年総合センター
URL: <http://nyc.niye.go.jp/>

■ 小田急線:

参宮橋駅下車 徒歩約7分

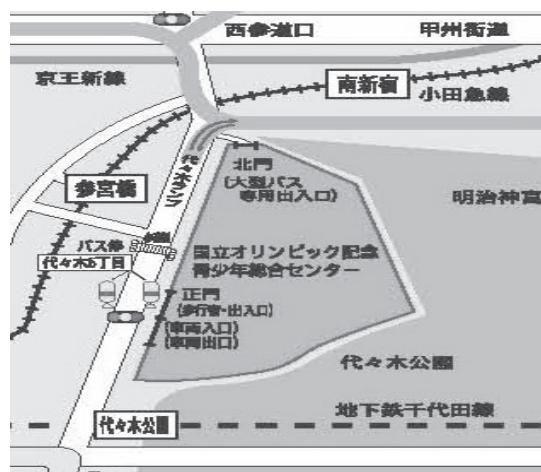
■ 地下鉄千代田線:

代々木公園駅(C02)下車

(代々木公園方面4番出口) 徒歩約10分

■ 京王バス:

新宿駅西口(16番)より 代々木5丁目下車
渋谷駅西口(14番)より 代々木5丁目下車



平成27年度 東京都がん検診センター
第2回乳がん検診従事者講演会 受講申請書

日時:平成28年1月16日(土) 14時~16時

ふりがな 氏 名	
勤務先名称	
勤務先住所	〒 _____
電話番号	
FAX	
職 種	医師・診療放射線技師・臨床検査技師・その他()

※ 受講できない場合のみご連絡いたしますので、FAX番号をご記入ください。



第39回 日本脳神経CI学会総会

The 39th Annual Meeting of the Japan Society for CNS Computed Imaging

2016年 1月29日金・30日土 会長 土屋一洋 (東京通信病院放射線科 部長)

会場 日経ホール 〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7 日経ビル 副会長 塩川芳昭 (杏林大学脳神経外科 教授)

治療に直結した神経放射線診断の実践

シンポジウム、セミナー、多数の演題から最新の研究のトレンドを知る
教育講演、フィルムリーディングで基礎知識をブラッシュアップ/アップデート

演題登録期間:2015年8月4日火▶9月15日火

■連絡事務局 株式会社コンペックス内 1106-0001 東京都港区6-7-12-1 TEL:03-6425-1602 FAX:03-6425-1603 E-mail:cnsi39@convex.co.jp

<http://cnsi39.umin.jp/>

News

12月号

日 時：平成27年10月1日(木)
午後6時45分～午後8時00分
場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所
出席理事：篠原健一、葛西一隆、白木 尚、石田秀樹、
関 真一、野口幸作、浅沼雅康、市川重司、
江田哲男、高坂知靖、高野修彰、安宅里美、
藤田賢一、平瀬繁男、竹安直行、岡部博之、
工藤年男
出席監事：乙井不二夫
指名出席者：齊藤謙一（第1地区委員長）、稻毛秀一（第5地区委員長代理）、鎌田修（第8地区委員長）、今野重光（第10地区委員長）、崎浜秀幸（第13地区委員長）、内山秀彦（第14地区委員長）、原子 満（第15地区委員長）、渡辺靖志（災害対策委員長）、河内康志（総務委員）、大脇由樹（総務委員）、雨宮広明（総務委員）、中嶋直人（庶務委員）欠席理事：鈴木 晋
議 長：篠原健一（会長）
司 会：白木 尚（副会長）
議事録作成：雨宮広明

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

理事会定数確認

出席：17名、欠席：3名

会長挨拶

今日から10月です。年度の後半がはじまります。すでに秋のさまざまな事業がはじまっております。われわれの任期の2年も最後の半期です。年末年始を挟んで、来年度の役員改選にむけての取り組みも行わなければなりません。現在行っている大きな事業として統一講習会があります。すでに2回開催され、本年度は5回開催を予定しています。南関東の枠がもう1つあるということで、日程的には厳しいですが、可能であれば6回開催して、受講修了者を増やしたいと思います。2回開催して約110名の方が講習終了となっています。これは全員が本会会員ではありませんので、単純に言えませんが仮に東京都の会員数を人数で割ると20名に1名ぐらいになります。イメージするに良いかと思いつしますが、11月の第3回で60名がさらに増える予定です。われわれの会員の12人に1人、4回目で9人に1名、予定通りに5回目を実施すると7人に1名が修了者となります。来年度も事業を継続し、さらに修了者を増やしていきますのでぜひご協力をお願いします。

報告事項

1) 会長

・活動報告書に追加なし。

2) 副会長

葛西副会長

・活動報告書の「25日（金）：城北支部研修会」→を削除。
・その他、活動報告書に追加なし。

白木副会長

9月27日（日）：本会が初めて主催した平成27年度電離箱式サーベイメータ確認校正事業は、渡辺災害対策委員長のもと無事に実施された。

・その他、活動報告書に追加なし。

3) 業務執行理事

総務：石田理事

・活動報告書に追加なし。

経理：関理事

・活動報告書に追加なし。

庶務：野口理事

・活動報告書に追加なし。

4) 専門部委員会

災害対策委員会

・平成27年度電離箱式サーベイメータ20台について確認校正を行いました。詳しくは再度、報告致します。

涉外委員会

・10月1日に都庁にて、東京都功労者表彰の授賞式があり、元（財）多摩緑成会緑成会病院の大類幸吉様が表彰されております。

学術委員会

・第15回合同学術講演会が53名、第49回ワンコインセミナーが103名に参加いただきました。

・活動報告書に追加なし。

5) 支部・地区委員会

・活動報告書に追加なし。

6) 特別委員会等

・活動報告書に追加なし。

7) その他・研修センター申請・事業報告

・活動報告書に追加なし。

議 事

1) 事業計画申請の件

- ①第52回日暮里塾ワンコインセミナー・第12地区合同研修会
「高速撮影」3TMRI&320列CT
平成28年1月21日（木）19：00～20：30 東大和病院
本院 7階会議室開催について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認0名】

②第14回ウインターセミナー

「急性疾患アラカルトⅡ（血管編）」

平成28年1月23日（土）15：00～18：00 東京医科大学
研究教育棟3階第一1講堂開催について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認0名】

③平成27年度診療放射線技師基礎技術講習「消化管撮影」

平成27年11月29日（日）8:55～17:00 東京都診療放射
線技師会研修センター開催について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認0名】

④クリーン日暮里21（荒川区青少年日暮里地区委員会主催）

「地球環境保全ボランティア活動」平成27年12月20日
(日) 10：00～12：00日暮里駅前周辺開催について審議
した。

【承認：17名、保留：0名、否認0名】

2) 新入会に関する件

9月の新入会等について審議した。

新入会 19名、退会3名

【承認：17名、保留：0名、否認0名】

地区質問、意見に関する事項

- ・事前資料にて地区質問、意見を求めた。
- ・白木副会長が意見および質問を求めたが、特になかった。

連絡事項

1) 総務委員会

- ・12月5日に日光「旅の宿 風のひびき」にて役員研修会
があります。15時00分から講演会があり、16時00分より
理事会開催の予定であります。例年とは違う場所になります
ので、遅れないように皆さまご参集のほど宜しくお願
い致します。
- ・施設での監査がありましたら、調査報告を石田総務委員
長まで送って下さい。
- ・来年6月総会にて役員選挙があります。役員改選にとも
ない選挙管理委員会を立ち上げます。選挙管理委員の選
出を各支部から1名の推薦をお願いします。推薦の締め
切りは、来月の専門部25日までとなります。

篠原会長：各地区の来年度地区委員長をできるだけ早く決
めておいていただきたい。前回の1年半前もそうでした
が、基本的に支部ごとに1名支部長という形で理事を決
めていただきます。各地区の委員長を早めに決めていた
だかないと決まりませんので、対応をお願いします。ま

だ立候補などについては先になりますが、来年度のこと
ですので、各地区で早めに決めていただき、そして支
部ごとに代表を決めていただきたいと思います。各支部
で最低1名の方に理事へ立候補していただこうと考えて
おります。日本診療放射線技師会も地域ごとにあります
が、東京都も5支部ありますので、支部長という役職名
はありませんが、支部の理事ということで早めに地区委
員長を決めていただければと思います。

2) 厚生調査委員会

- ・11月中旬に給与関係に関するアンケート調査を実施する
予定であります。参加、協力のほどよろしくお願
いします。

3) その他

野口理事

- ・10月24日、25日に千葉県実施の統一講習会があります。
まだ空きがあるそうですので、参加したい方がいました
ら声かけをお願いします。近日中に資料を送ります。東
京都は11月になりますのでよろしくお願
い致します。
- ・来月に京都の学術大会があります。初日に日本診療放射
線技師会の情報交換会があります。翌日の日曜日は東京
都の情報交換会がありますので参加のほどよろしくお願
い致します。

第4地区

- ・11月27日（金）第4地区研修会「Exposure Indexの使
用方法と注意点」があります。参加のほどよろしくお願
いします。

第5地区

- ・10月18日（日）荒川河川敷清掃ご参加いただける方が
いましたらよろしくお願
いします。

第6地区

- ・11月6日（金）第6地区研修会「認知症高齢者への関わ
り方」があります。参加のほどよろしくお願
いします。

今後の予定

事業予定表のエクセルシートについて、枠が塗られてい
るものは事業申請されているものです。塗られていない
ものは事業申請がされておりません。担当者は事業申請
状況を確認していただき、石田総務委員長まで連絡をお
願いします。

以上

平成27年度7月期 会員動向

(平成27年7月)

総会員数		正会員				
年月	月末数	会員数	新入	転入	転出	退会
26年度集計	2088	2088	149	32	19	78
H27.4	2099	2099	13	4	1	5
H27.5	2073	2073	27	3		56
H27.6	2090	2090	15	3		1
H27.7	2115	2115	26			1

新卒新入=★

7月度	新入会(26名)	遠藤 恭子	八柱三和クリニック	14 地区	
		坂井 香澄	関東中央病院	11 地区	再
		清水 慶季	昭和大学病院	8 地区	★
		野辺地 智也	自衛隊中央病院	11 地区	★
		濵谷 優佑	昭和大学横浜市北部病院	15 地区	★
		安彦 史弥	東京都済生会中央病院	4 地区	
		宮崎 礼奈	浅草病院	2 地区	★
		加藤 春香	順天堂東京高齢者医療センター	7 地区	
		久和 泰介	東大和病院	12 地区	
		加藤 紀明	日本赤十字医療センター	4 地区	★
		高野 礼央	東京都リハビリテーション病院	7 地区	
		國府田 純一	昭和大学病院	8 地区	★
		高橋 基	昭和大学横浜市北部病院	15 地区	★
		竹下 雄大	東海大学医学部付属八王子病院	13 地区	★
		伊能 久美	東京臨海病院	7 地区	
		新川 翔太	東京大学医学部附属病院	5 地区	
		古川 早姫	NTT東日本関東病院	8 地区	★
		黒田 周児	横浜市立大学附属市民総合医療センター	15 地区	
		豊田 耕平	東京都リハビリテーション病院	7 地区	
		石橋 理	東大和病院	12 地区	
		芦高 裕典	東京医科歯科大学医学部附属病院	5 地区	
		山田 征弘		13 地区	
		森田 俊之	東京大学医学部附属病院	5 地区	
		小川 隆	順天堂大学医学部附属順天堂医院	5 地区	
		小山 千絵	慶應義塾大学病院	3 地区	★
		坪田 ともみ	武藏野徳洲会病院	12 地区	★
	退会(1名)	平井 隆昌	国立がん研究センター中央病院	2 地区	

平成27年度8月期 会員動向

(平成27年8月)

総会員数		正会員				
年月	月末数	会員数	新入	転入	転出	退会
26年度集計	2088	2088	149	32	19	78
H27.4	2099	2099	13	4	1	5
H27.5	2073	2073	27	3		56
H27.6	2090	2090	15	3		1
H27.7	2115	2115	26			1
H27.8	2121	2121	9	2	1	4

新卒新入=★

8月度	新入会(9名)	小谷 舞	浅草病院	2 地区	
		宮崎 絵里香	亀田京橋クリニック	2 地区	
		室町 理乃	武藏野徳洲会病院	12 地区	★
		濱野 文恵	永寿総合病院	2 地区	
		奥宮 剣太	多摩南部地域病院	13 地区	
		吉澤 知穂	慶應義塾大学病院	3 地区	
		茂木 志帆	昭和大学病院	8 地区	★
		根本 祐子	東京通信病院	1 地区	★
		望月 久光	新赤坂クリニック	4 地区	
転入(2名)	山川 加七子	東京ミッドタウンクリニック	4 地区		
	池内 忠義		5 地区		
転出(1名)	安藤 佳夫	福山整形外科クリニック	4 地区		
退会(4名)	木村 頤子	Kクリニック山王	8 地区		
	田中 宏和	東京慈恵会医科大学附属病院	4 地区		
	佐藤 信行		14 地区	死去	
	石上 正七		13 地区	死去	

平成27年度9月期 会員動向

(平成27年9月)

総会員数		正会員					
年月	月末数	会員数	新入	転入	転出	退会	
26年度集計	2088	2088	149	32	19	78	
H27.4	2099	2099	13	4	1	5	
H27.5	2073	2073	27	3		56	
H27.6	2090	2090	15	3		1	
H27.7	2115	2115	26			1	
H27.8	2121	2121	9	2	1	4	
H27.9	2137	2137	19			3	

新卒新入=★

9月度	新入会(19名)	中村 友梨	東京通信病院	1 地区	★
		佐伯 周太	昭和大学横浜市北部病院	15 地区	★
		宗岡 愛	昭和大学病院	8 地区	
		横川 直樹	東京都健康長寿医療センター	9 地区	
		中川 佳乃	武藏野赤十字病院	13 地区	
		光野 譲	国立がん研究センター中央病院	2 地区	
		元島 祐介	関東労災病院	15 地区	★
		杉田 萌	中野総合病院	10 地区	★
		大高 伸也	新赤坂クリニック	4 地区	
		野村 智哉	川崎南部病院	15 地区	
		松下 修	自衛隊中央病院	11 地区	
		吉本 将	日本赤十字医療センター	4 地区	★
		野々垣 遥	昭和大学病院	8 地区	★
		濱川 詩織	順天堂大学医学部附属順天堂医院	5 地区	★
		池田 章人	大久保病院	3 地区	再
		池田 涼子	関東労災病院	15 地区	
		大盛 浩行	青梅市立総合病院	13 地区	
		武井 美早紀	東京北医療センター	5 地区	
		宮入 勇豪	板橋中央総合病院	9 地区	★
退会(3名)		二村 梓		14 地区	
		井口 晴美	北原国際病院	13 地区	
		佐々木 功	春日部東部病院	16 地区	

イエローーケーキ

水中運動と健康

近頃、お腹回りが気になり自身の健康を考え、4月頃から週末にプールで「水泳・水中ウォーキング」を行うようになりました。30分～40分、水中ウォーキングを正しい姿勢でゆっくり行い、その後30分～40分泳ぎ、計1時間から1時間30分位プールで体を動かしています。

水泳・水中ウォーキングと健康との関係を調べてみると“泳ぐ”ことは、“歩く”や“走る”よりも全身を使って運動をするため、以前からダイエットに効果があると言われています。他の運動と異なり、水の抵抗を受けながら行う有酸素運動であるため、カロリー消費も激しいのが水泳の特徴であり、プールで水中にいることにより、安心感とリラックス効果を得ることができるそうです。

約8か月間続けて、私の「水泳・水中ウォーキング」効果は、ぽっこりお腹がなくなり、階段の上り下りや、ちょっと小走りになったときに息切れ知らずになった様に感じられます。また健康診断血液検査結果に赤字が無くなりました。

「水泳・水中ウォーキング」を始めて、少しだけ健康になったように思い、チョットだけ得した気分になりました。

泳ぐためにはプールにいかなければなりませんが、水着・キャップ・ゴーグルの3点を用意して軽い水中運動から初めてみてはいかがですか。

T · I

診療放射線學科專任教員募集

東京電子専門学校

医療・コンピュータ・電子の総合学園、創立69年の伝統と4省認定校

募集対象者：診療放射線技師（臨床実務経験5年以上）、教育経験あればなお可

募集人員：若干名

学 校 名：東京電子専門学校

住 所：〒170-8418 東京都豊島区東池袋3丁目6番1号

待 遇：経歴、資格、前給等を考慮して本校規定により優遇

賞与(昨年度実績5.45月)、交通費支給

勤務・休日：9:00～17:00（実動7時間）、週休2日（土日祭休）休出は代休有、半日有給制度有

社会保険：社会保険完備（私学共済）

宿舎の有無：なし

応募方法：履歴書(写)、職務経歴書、資格者証のコピー(必要なもののみ)、通勤可能な方、担当できる教科(可能であればお知らせください)

担当者：脇坂 哲夫 E-mail：wakisaka@tokyo-ec.ac.jp

TEL: 03(3982)3131(大代表) FAX: 03(3980)6404

学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

平成27年度

1. 学術研修会

☆第14回ウインターセミナー

平成28年1月23日（土）

2. きめこまかな生涯教育

第57回きめこまかな生涯教育

平成28年2月20日（土）

☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー

第52回日暮里塾ワンコインセミナー（第12地区研修会合同開催）

平成28年1月21日（木）

4. 集中講習会

第8回MRI集中講習会

平成28年2月6日（土）

☆5. 支部研修会

城南支部研修会

平成28年1月22日（金）

城西支部研修会

6. 地区研修会

第12地区研修会（第52回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催）

平成28年1月21日（木）

第11地区研修会

平成28年2月10日（水）

第1地区研修会

平成28年2月19日（金）

7. 特別委員会研修会

災害対策委員会研修会

平成28年3月12日（土）

8. 地球環境保全活動

日暮里駅前清掃活動

平成27年12月20日（日）

荒川河川敷清掃活動

富津海岸清掃活動

関連団体

平成27年度第2回肺がん検診従事者講習会（東京都生活習慣病検診従事者講習会）

平成27年12月4日（金）

平成27年度東京都がん検診センター 第3回マンモグラフィ研修会（読影補助編）

平成27年12月10日（木）

平成27年度東京都がん検診センター 第4回マンモグラフィ研修会（読影補助編）

平成27年12月11日（金）

超音波スクリーニング研修講演会2015有明

平成27年12月12日（土）

平成27年度第3回関東Angio研究会（第2回ステップアップセミナー）

平成28年1月9日（土）

平成27年度東京都がん検診センター 第5回マンモグラフィ研修会（ポジショニング入門）

平成28年1月14日（木）

平成27年度東京都がん検診センター 第6回マンモグラフィ研修会（ポジショニング入門）

平成28年1月15日（金）

平成27年度東京都がん検診センター 第2回乳がん検診従事者講演会

平成28年1月16日（土）

平成27年度第4回業務拡大に伴う統一講習会

平成28年1月16日（土）～17日（日）

第39回日本脳神経CI学会総会

平成28年1月29日（金）～30日（土）

平成27年度第5回業務拡大に伴う統一講習会

平成28年2月27日（土）～28日（日）

平成27年度第6回業務拡大に伴う統一講習会

平成28年3月5日（土）～6日（日）

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

（新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう）

会費減額制度のお知らせ

公益社団法人東京都診療放射線技師会の「会費減額」制度をお知らせいたします。

本制度は本会「会費に関する規程 第9条（会費減額）」に基づき、規定の年齢を迎えた本会会員を対象とし年会費優遇の特典を設けております。

この制度は、諸先輩の方々の豊富な経験により培われた医療における接遇や技術を、後進の会員はもとより、都民ならびに社会のために継続して役立てていただくことを目的としております。

ご退職と同時に本会を退会されるのではなく、この制度をご理解のうえ、ぜひ今後ともご協力・ご指導をお願い申し上げる所存です。

なお、本制度を申し込む場合は、前年末までに所定の申請を行っていただく必要があります。

皆さまのご活用を心よりお待ち申し上げております。

※ 会誌巻末の会費減額処置申請書に必要事項を明記のうえ、当会事務所まで届出てください。

公益社団法人東京都診療放射線技師会 会費に関する規程

(第9条抜粋)

(会費減額)

第9条 定款第5条で定める会員で、次の事項を満たす者は、会費減額の取扱いを受けることができる。

- (1) 60才以上の会員
- (2) 10ヶ年会員として在籍し、会費の完納者
- 2 当該年度の前年末までに所定の申請を行い、〔様式6〕、理事会承認を経て新年度から資格を有する。
- 3 会費減免対象者の会費は以下のとおりとする。

(1) 60才以上～70才未満	年額	7,000円
(2) 70才以上	年額	3,000円
- 4 会費減額者は以下の特別待遇を受けることができる。
 - (1) この法人で行う啓発、教育活動を担える者として待遇する

会費減額処置申請書

私は、会費減額処置を申請いたします。

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 殿

氏名			
氏名(カタカナ)			
氏名(英語)			
性別	男性 · 女性		
生年月日	昭和 年 月 日 生 (歳)		
勤務先	勤務先名		
	勤務先所在地	〒 -	
	電話		
自宅	現住所	〒 -	
	電話		
本会よりの通信先	勤務先 · 自宅		
技師籍	資格取得	診療エックス線技師 · 診療放射線技師	
		第 回 国家試験合格	
		年 月	
	技師籍登録	厚生労働省 第 号	
	年 月		
技師歴	年 月		
	年 月		
	年 月		
関連免許	免許名		登録番号
			年 月
			年 月
			年 月
備考			

技師会歴 昭和 年入会(年間)

受付 平成 年 月 日

理事会承認 平成 年 月 日 印

減額処置通知 平成 年 月 日 印

平成27年 東京放射線 総目次

Vol.62 No.724~734

1月号 Vol.62 No.724

謹賀新年	4
卷頭言 年頭所感	会長 篠原健一 5
会告1 新春のつどい	6
会告2 第13回ウインターセミナー	学術教育委員会 7
会告3 第42・43回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 8
会告4 平成26年度第4回静脈注射（針刺しは除く）講習会	9
会告5 平成26年度診療放射線技師基礎技術講習「放射線治療」	10
会告6 第7回MRI集中講習会	学術教育委員会 11
会告7 第54回きめこまかな生涯教育	学術教育委員会 12
会告8 平成26年度災害対策委員会研修会	災害対策委員会 13
お知らせ1 第12地区研修会	第12地区 14
お知らせ2 第1地区研修会（第3回消化管）	第1地区 15
お知らせ3 第15地区研修会	第15地区 16
お知らせ4 第1地区研修会（心エコー）	第1地区 17
お知らせ5 第5地区研修会	第5地区 18
お知らせ6 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 19
新春企画 平成27年新春座談会	20
専門部委員会のカオ	28
こえ	
・第6地区研修会印象記	鹿又美咲、梅田洋平、室山真奈美 32
・中央区健康福祉まつりに参加して	鈴木正子 34
・中央区健康福祉まつりに参加してみて	富丸佳一 35
NEWSひろい読み	36
パイプライン	
・超音波画像研究会 第237・238回定例会	39
・平成26年度マンモグラフィー研修会（読影入門編）	40
・第37回消化器造影技術研修会	42
・第1回血管撮影ステップアップセミナー	関東Angio研究会 43
・平成26年度マンモグラフィー研修会（ポジショニング入門）	44
・平成26年度市民公開講座	（公社）日本放射線技術学会 46
平成26年度第8回理事会報告	47
平成26年10月期会員動向	51
Column & Information	
・求人情報	49
・学術講演会・研修会等の開催予定	50

2月号 Vol.62 No.725

診療放射線技師業務標準化宣言	2
卷頭言 転ばぬ先の杖	副会長 白木 尚 4
会告1 第54回きめこまかな生涯教育	学術教育委員会 5
会告2 平成26年度災害対策委員会研修会	災害対策委員会 6
会告3 平成26年度第5回静脈注射（針刺しは除く）講習会	7
会告4 城西支部研修会	城西支部委員会 8
お知らせ1 第15地区研修会	第15地区 9
お知らせ2 第1地区研修会	第1地区 10
お知らせ3 第5地区研修会	第5地区 11
お知らせ4 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 12

連載 誌上講座 第7回「Fracture -Cross Search-」...森 美加 13

こえ	
・第3地区研修会に参加して	吉村 良 18
・第40回日暮里塾ワンコインセミナーに参加して	深野雅敬 19
・第21回役員研修会参加報告	柴山豊喜 20
NEWSひろい読み	21
パイプライン	
・超音波画像研究会 第238回定例会	23
・平成26年度マンモグラフィー研修会（ポジショニング入門）	24
平成26年度第9回理事会報告	26
登録事項変更届	30
研修会等申込書	31
Column & Information	
・イエローケーキ	19
・求人情報	23
・学術講演会・研修会等の開催予定	28

3月号 Vol.62 No.726

卷頭言 百術不如一清（ひゃくじゅついっせいにしかず）...会長 篠原健一	4
会告1 平成26年度災害対策委員会研修会	災害対策委員会 5
会告2 第44回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 6
会告3 城西支部研修会	城西支部委員会 7
会告4 第66回定期総会での表彰（勤続20年）について	...涉外委員会 8
お知らせ1 学術教育委員会からのお知らせ	学術教育委員会 9
お知らせ2 第8地区研修会	第8地区 10
お知らせ3 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 11
連載 誌上講座 第8回「Fracture -Cross Search-」...森 美加	12
こえ	

・5年目の日暮里清掃活動（クリーン日暮里21）に参加して想うこと	鈴木雄一 16
・第4地区研修会印象記	坪井可那子 17
・2015年新春のつどいに参加して	富丸佳一 18
・第12地区研修会に参加して	梶山貴幸 19

NEWSひろい読み	20
パイプライン	

・超音波画像研究会 第238回定例会、第239回定例会、エコーの寺小屋	22
平成26年度第10回理事会報告	23
平成26年11・12月期会員動向	25
会費減額制度のお知らせ	28
会費減額処置申請書	29
登録事項変更届	30
研修会等申込書	31

Column & Information	
・イエローケーキ	25
・求人情報	26
・学術講演会・研修会等の開催予定	27

4月号 Vol.62 No.727

診療放射線技師のための接遇規範	2
卷頭言 篠原健一	会長 篠原健一 4
会告1 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第66回定期総会	... 5
会告2 平成27年度多摩支部研修会	多摩支部研修会 6

会告3	第46回日暮里塾ワンコインセミナー<学術教育が行く入会促進>学術教育委員会	7
会告4	平成27年度診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」 (第45・47回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催)学術教育委員会	8
会告5	第13回ペイシメントケア学術大会	9
お知らせ1	学術教育委員会からのお知らせ	10
お知らせ2	東放技会員所属地区のご案内	11
平成26年度	公益社団法人東京都診療放射線技師会アンケート調査結果...厚生調査委員会	12
連載	誌上講座 第9回「Fracture -Cross Search-」...荒殿太朗、高橋克行	21
こえ		
・「OTAふれあいフェスタ」に参加して.....浦田尚吾	25	
・第42・43回日暮里塾ワンコインセミナー「乳房装置の管理」に参加して....阿曾真弓	26	
・「MRI集中講習会」を受講して安藤千知	27	
・第15地区研修会に参加して高沢慶介	28	
・地区委員として第15地区研修会に参加して川崎燐太	29	
・第5地区研修会に参加して鈴木正晴	30	
・第54回きめこまかな生涯教育に参加して.....鳥井志真子	31	
NEWSひろい読み		32
バイブルайн		
・超音波画像研究会 第239回定期例会、エコーの寺小屋	35	
平成26年度第11回理事会報告		36
平成27年1月期会員動向		40
登録事項変更届		42
研修会等申込書		43

Column & Information

・公益社団法人東京都診療放射線技師会 第66回定期総会 準備委員・職員名簿	24
・「東京放射線」5月号のお知らせ	25
・イエローケーキ1	26
・イエローケーキ2	34
・求人情報	39
・学術講演会・研修会等の開催予定	41

5月号 Vol.62 No.728

巻頭言	ピンクリボンウォーキング活動と診療放射線技師...副会長 葛西一隆	2
会告1	公益社団法人東京都診療放射線技師会 第66回定期総会開催について(招集通知)	3
会告2	第55回きめこまかな生涯教育	4
会告3	第46回日暮里塾ワンコインセミナー<学術教育が行く入会促進>学術教育委員会	5
会告4	平成27年度診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」 (第45・47回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催)学術教育委員会	6
会告5	第13回ペイシメントケア学術大会	8
公開講座のお知らせ		
会告6	平成27年度城東支部研修会	城東支部委員会 10
会告7	平成26年度学術奨励賞	11
会告8	平成26年度新人奨励賞	12
お知らせ1	学術教育委員会からのお知らせ	13
お知らせ2	クリーンデー(中央区内一斉清掃日)	14
お知らせ3	東放技会員所属地区のご案内	15
公益社団法人東京都診療放射線技師会	第66回定期総会資料	
・第1号議案 平成26年度事業報告(案)	16	
I 総括		
II 事業報告		
III 活動報告		
IV 活動報告(庶務概要)		

・第2号議案 平成26年度決算報告(案)	39	
平成26年度監査報告	48	
・第3号議案 平成27年度事業計画(案)	49	
I 総括		
II 定款に基づく本会の事業		
III 委員会事業計画		
・第4号議案 平成27年度予算(案)	59	
バイブルайн		
・超音波画像研究会 第240回定期例会、第12回ワンバイツー講習会	61	
・平成27年度 東京都がん検診センター マンモグラフィ研修会(読影補助編)	62	
平成26年度第12回理事会報告		64
平成27年2月期会員動向		68
研修会等申込書		70

Column & Information

・公益社団法人東京都診療放射線技師会 第66回定期総会 準備委員・職員名簿	14
・学術講演会・研修会等の開催予定	69
・求人情報	71

6月号 Vol.62 No.729

巻頭言 mission・vision・value	副会長 白木 尚 4	
会告1	公益社団法人東京都診療放射線技師会 第66回定期総会開催について(招集再通知) ... 5	
会告2	平成27年度診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」 (第47回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催) 学術教育委員会 6	
会告3	第13回ペイシメントケア学術大会	8
公開講座のお知らせ		
会告4	第46回日暮里塾ワンコインセミナー<学術教育が行く入会促進>学術教育委員会 10	
会告5	平成27年度診療放射線技師基礎技術講習「一般撮影」... 11	
会告6	平成27年度第1回業務拡大に伴う統一講習会(南関東) ... 12	
会告7	平成27年度城東支部研修会	14
会告8	第48回日暮里塾ワンコインセミナー	15
会告9	第14回サマーセミナー	16
お知らせ1	学術教育委員会からのお知らせ	17
お知らせ2	地球環境保全活動 クリーン日暮里21(日暮里駅前清掃活動)第5地区 18	
お知らせ3	東放技会員所属地区のご案内	19
連載	誌上講座 第10回「Fracture -Cross Search-」...森 美加 20	
こえ		

・「緊急被ばく医療講習会~3.11を風化させないために~」に参加して....加藤仁規	27
・「緊急被ばく医療講習会~3.11を風化させないために~」に参加して....浅野翔太	28
・平成26年度 城西支部研修会印象記	北川ア紀子 29
・第1地区研修会「上部消化管撮影の基礎」に参加して....瀬川 臨	30

NEWSひろい読み		31
-----------	--	----

バイブルайн

・第19回 MASTERS COMMUNITYセミナー	33
・平成27年度 東京都がん検診センター マンモグラフィ研修会(読影補助編)	34
・平成27年度 第1回胃がん検診X線撮影従事者講習会	36
・超音波画像研究会 第240回定期例会 第12回ワンバイツー講習会	38
・第32回中央医療技術専門学校同窓会総会・中央放射線学会	39

平成27年度第1回理事会報告		40
----------------	--	----

平成27年3月期会員動向		44
--------------	--	----

Column & Information

・お詫びと訂正	18
---------	----

・公益社団法人東京都診療放射線技師会 第66回定期総会 準備委員・職員名簿	26
---------------------------------------	----

・イエローケーキ	43
・「東京放射線」7・8月合併号のお知らせ	45
・学術講演会・研修会等の開催予定	46
・求人情報	47

7・8月合併号 Vol.62 No.730

巻頭言 一朧の雲	会長 篠原健一	4
会告1 平成27年度城東支部研修会	城東支部委員会	5
会告2 第48回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会	6
会告3 第14回サマーセミナー	学術教育委員会	7
会告4 平成27年度第2回業務拡大に伴う統一講習会（南関東）		8
会告5 第15回合同学術講演会	学術教育委員会	10
会告6 第14回城北支部研修会	城北支部委員会	11
会告7 平成27年度「電離箱式サーベイメータ確認校正」...災害対策委員会		12
会告8 第49回日暮里塾ワンコインセミナー＜学術教育が行く！入会促進＞	学術教育委員会	13
お知らせ1 学術教育委員会からのお知らせ	学術教育委員会	14
お知らせ2 地球環境保全活動 クリーン日暮里21（日暮里駅前清掃活動）	第5地区	15
連載 誌上講座 第11回「Fracture -Cross Search-」	森 美加	16
こえ		
・看護フェスタ2015に参加して	篠田 浩	21

NEWSひろい読み		22
-----------	--	----

バイブルайн

・平成27年度 第1回胃がん検診X線撮影従事者講習会		24
・平成27年度 胃がん検診読影従事者講習会		26
・超音波画像研究会 第12回ワンバイツー講習会		28

平成27年度第2回理事会報告		29
----------------	--	----

平成27年4月期会員動向		34
--------------	--	----

Column & Information

・お詫びと訂正		20,28
・学術講演会・研修会等の開催予定		33
・求人情報		35

9月号 Vol.62 No.731

診療放射線技師業務標準化宣言		2
巻頭言 情報から得る知識より考える力	副会長 白木 尚	4
会告1 第15回合同学術講演会	学術教育委員会	5
会告2 第14回城北支部研修会	城北支部委員会	6
会告3 第49回日暮里塾ワンコインセミナー＜学術教育が行く！入会促進＞	学術教育委員会	7
会告4 第50回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会	8
会告5 第56回きめこまかなか生涯教育	学術教育委員会	9
お知らせ1 学術教育委員会からのお知らせ	学術教育委員会	10
お知らせ2 「災害時の対応」に関するアンケートのお願い	災害対策委員会・厚生調査委員会	11
お知らせ3 第6地区研修会	第6地区	12
お知らせ4 第4地区研修会	第4地区	13
新連載 誌上講座 第1回 超音波	菅 和雄	14
連載 誌上講座 第12回「Fracture -Cross Search-」	森 美加	18
こえ		
・城東支部研修会に参加して	永田千恵	24
・城東支部研修会に参加して	津久井綾	24
・第47回日暮里塾ワンコイン・フレッシャーズセミナーに参加して	新川翔太	25

NEWSひろい読み		26
-----------	--	----

バイブルайн

・平成27年度 胃がん検診読影従事者講習会		30
・第31回日本診療放射線技師学術大会		32
・超音波スクリーニング研修講演会2015有明		33
・第39回日本脳神経CI学会総会		34

平成27年度第3回理事会報告		35
----------------	--	----

平成27年度第4回理事会報告		39
----------------	--	----

Column & Information

・イエローケーキ		23
・学術講演会・研修会等の開催予定		42
・求人情報		43

10月号 Vol.62 No.732

接遇規範		4
------	--	---

巻頭言 応機肝要	会長 篠原健一	5
----------	---------	---

会告1 地球環境保全活動 荒川クリーンエイド2015@北区	荒川岩淵緑地	6
-------------------------------	--------	---

会告2 第50回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会	7
-----------------------	---------	---

会告3 第56回きめこまかなか生涯教育	学術教育委員会	8
---------------------	---------	---

会告4 第51回日暮里塾ワンコインセミナー＜学術教育がゆく！入会促進＞	学術教育委員会	9
-------------------------------------	---------	---

会告5 平成27年度第3回業務拡大に伴う統一講習会（南関東）		10
--------------------------------	--	----

会告6 第18回メディカルマネジメント研修会	学術教育委員会	12
------------------------	---------	----

会告7 日本診療放射線技師会の勤続30年及び50年表彰について	涉外委員会	13
---------------------------------	-------	----

お知らせ1 学術教育委員会からのお知らせ	学術教育委員会	14
----------------------	---------	----

お知らせ2 第13地区・多摩放射線技師連合会合同研修会	第13地区	15
-----------------------------	-------	----

お知らせ3 第6地区研修会	第6地区	16
---------------	------	----

お知らせ4 第3地区研修会	第3地区	17
---------------	------	----

お知らせ5 第4地区研修会	第4地区	18
---------------	------	----

平成26年度新人奨励賞 受賞報告	松永麻美	19
------------------	------	----

連載 誌上講座 第2回 超音波	菅 和雄	22
-----------------	------	----

こえ

・「中央区クリーンデー」に参加して	高瀬正行	26
-------------------	------	----

・日暮里清掃活動（クリーン日暮里21）に参加して	鈴木雄一	27
--------------------------	------	----

・「KSHS第5回全国大会」に参加して	牛川多恵	28
---------------------	------	----

NEWSひろい読み		30
-----------	--	----

バイブルайн

・平成27年度 胃X線検査従事者講演		32
--------------------	--	----

・平成27年度 第1回乳がん検診従事者講演会		34
------------------------	--	----

・第31回日本診療放射線技師学術大会		36
--------------------	--	----

・超音波スクリーニング研修講演会2015有明		37
------------------------	--	----

・第39回日本脳神経CI学会総会		38
------------------	--	----

平成27年5・6月期会員動向		39
----------------	--	----

Column & Information

・イエローケーキ		42
----------	--	----

・求人情報		42
-------	--	----

・学術講演会・研修会等の開催予定		43
------------------	--	----

11月号 Vol.62 No.733

診療放射線技師のための接遇規範		1
-----------------	--	---

診療放射線技師業務標準化宣言		2
----------------	--	---

巻頭言 安心・安全な医療の確保には…	副会長 葛西一隆	4
--------------------	----------	---

会告1 第51回日暮里塾ワンコインセミナー＜学術教育がゆく！入会促進＞	学術教育委員会	5
-------------------------------------	---------	---

会告2 第18回メディカルマネジメント研修会	学術教育委員会	6
------------------------	---------	---

会告3 平成27年度診療放射線技師基礎技術講習「消化管撮影」		7
--------------------------------	--	---

お知らせ1 学術教育委員会からのお知らせ.....	学術教育委員会	8
お知らせ2 第6地区研修会	第6地区	9
お知らせ3 第3地区研修会	第3地区	10
お知らせ4 第4地区研修会	第4地区	11
お知らせ5 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会	12
荒川区環境区民大賞奨励賞受賞報告.....	篠原健一、小野口敦	13
第66回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会（抄）.....		15
平成26年度特別功労賞・功労賞（勤続20年表彰）・小野賞受賞者 ...		25
平成26年度新人奨励賞 受賞報告	林 嘉里	26
こえ		
・ペイシェントケア学術大会「がん患者をサポートする医療者」に参加して 石橋貴徳		29
・日暮里塾ワンコイン・フレッシャーズセミナーに参加して 今野敦也		30
・フレッシャーズセミナーに参加して 光武秀悦		31
パイプライン		
・平成27年度第1回乳がん検診従事者講習会（東京都生活習慣病検診従事者講習会） ...		32
・平成27年度東京都がん検診センター 第1回乳がん検診従事者講演会		34
・第31回日本診療放射線技師学術大会		36
・超音波画像研究会 第240回定例会		37
・平成27年度第2回肺がん検診従事者講習会（東京都生活習慣病検診従事者講習会）		38
・平成27年度東京都がん検診センター 第3・4回マンモグラフィ研修会（読影補助編）		40
・胃X線精度管理研究委員会 第24回学術集会		42
・平成27年度第3回関東Angio研究会（第2回ステップアップセミナー） ...		43
・超音波スクリーニング研修講演会2015有明		44
・第39回日本脳神経CI学会総会		45
平成27年度第5回理事会報告		46
会費減額制度のお知らせ		50
会費減額処置申請書		51
研修会等申込書		53
登録事項変更届		54
<hr/> Column & Information <hr/>		
・学術講演会・研修会等の開催予定		52
・求人情報		55
12月号 Vol.62 No.734		
卷頭言 進テ公益ヲ広メ	会長 篠原健一	4
会告1 新春のつどい		5
会告2 平成27年度第4・5・6回業務拡大に伴う統一講習会		6
会告3 第12地区研修会（第52回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催）第12地区・学術教育委員会		8
会告4 平成27年度城南支部研修会	城南支部委員会	9
会告5 第14回ウインターセミナー	学術教育委員会	10
会告6 第8回MRI集中講習会	学術教育委員会	11
お知らせ1 第11地区研修会	第11地区	12
お知らせ2 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会	13
平成26年度学術奨励賞 受賞報告	渡邊真弓	14
連載 誌上講座 第3回 超音波	小原和史	18
こえ		
・第14回城北支部研修会印象記	森田俊之	22
・第14回 城北支部研修会に参加して	小島 葵	23
・第14回 城北支部研修会で感じたこと	齋藤正人	24
・第49回日暮里塾ワンコインセミナーに参加して	S. F	25
パイプライン		
・平成27年度第2回肺がん検診従事者講習会（東京都生活習慣病検診従事者講習会）		26
・平成27年度東京都がん検診センター 第3・4回マンモグラフィ研修会（読影補助編）		28
・超音波スクリーニング研修講演会2015有明		30
・平成27年度第3回関東Angio研究会（第2回ステップアップセミナー）		31
・平成27年度東京都がん検診センター 第5・6回マンモグラフィ研修会（ポジショニング入門）		32
・平成27年度東京都がん検診センター 第2回乳がん検診従事者講演会		34
・第39回日本脳神経CI学会総会		36
平成27年度第6回理事会報告		37
平成27年7月期会員動向		39
平成27年8月期会員動向		40
平成27年9月期会員動向		41
会費減額制度のお知らせ		44
会費減額処置申請書		45
研修会等申込書		50
登録事項変更届		51
<hr/> Column & Information <hr/>		
・イエローケーキ		42
・求人情報		42
・学術講演会・研修会等の開催予定		43
・平成27年東京放射線総目次		46

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回	
開催日	平成 年 月 日() ~ 月 日()	
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック	
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [] 県	
ふりがな		
氏名		
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 []	
	TEL (必須)	
	FAX	
	メール (PCアドレス)	
備考		

FAX 03-3806-7724
 公益社団法人 東京都診療放射線技師会 事務所

[様式3]

登録事項変更届

公益社団法人東京都診療放射線技師会 殿

公益社団法人日本診療放射線技師会 殿

会員番号					
氏名	印				
氏名(カタカ)					
性別	男性・女性				
生年月日	昭和	平成	年	月	日生
メールアドレス					

下記のとおり、登録事項の変更をお願い申し上げます。

氏名の変更

改姓(変更後の氏名)	
------------	--

送付先変更

現在の送付先	勤務先・自宅
新送付先	勤務先・自宅

住所等の変更

新勤務先	勤務先名	部署
	勤務先所在地	〒一
	電話	
旧勤務先		
新自宅	現住所	〒一
	電話	
旧自宅住所		

その他

通信欄	
-----	--

受付
確認

平成年月日
平成年月日 印

Postscript

クリスマスに向けたイルミネーションの準備が街中に見えはじめると、我が家には来年受験を控えた息子がおり、二人で初めての高校の説明会に参加してきました。

高校受験といつても私が受験したのは30年以上前のこと、その頃とくらべると状況は一変しておりました。昔の都立高校は都内をいくつかの区单位でグループにわけ、その中から進学する高校を選択しておりました。現在はそれらの制限はなくなりました。自由度が広がった事もあり、参加者は5~600人はいたと思われます。

目的の学校に到着して授業風景を見学したあと、体育館に集まり教員からの受験にたいする説明がありました。その後、在校生による授業や国際交流などの学校の特色についての、説明と生徒自身が体験して得た感想と続きました。生徒の説明は口述のみでしたが、状況が目に浮かぶような内容のわかりやすさと、滑

舌の良さに大変驚かされました。大人数の前で発表した生徒の堂々とした態度に、将来の息子の姿を重ね期待に膨らむ思いと、学会や研究会での発表や座長を行う自分姿を反省する実りある時間になりました。

わが家の来年のクリスマスはお預けになると思いますが、若者達の将来に期待膨らませ見守りたいと思います。

“若者”はいつの時代でも宝物であることを感じた1日でした。

GON

■ 広告掲載社

(株)グリーンメディカル
コニカミノルタヘルスケア(株)
GEヘルスケア・ジャパン
東京電子専門学校
東芝メディカルシステムズ(株)
富士フィルムメディカル(株)
(株)森山X線用品

東京放射線 第62巻 第11号

平成27年11月25日 印刷 (毎月1回1日発行)

平成27年12月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号

〒116-0013 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

会長 篠原 健一
編集代表 浅沼 雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <http://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月~金 9:30~17:00

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日~1月4日までは執務いたしません

電話・FAX 東京 (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康
内藤哲也
岩井譜憲
森美加
中谷麗
柴山豊喜
平田充弘
高橋克行